

日本自然災害学会
広島県土砂災害
緊急調査報告会

1. 豪雨災害の 概要と豪雨特性



(C)国際航業株式会社 株式会社パノ

山口大学 農学部 山本晴彦

死者4名、全壊家屋7戸

風化花崗岩地帯で頻発する土石流災害

2010年7月16日
庄原土石流

2014年8月20日
広島土石流

死者74名
全壊家屋133棟

1999年6月29日
広島土石流

死者31名
行方不明者1名
全壊家屋154戸

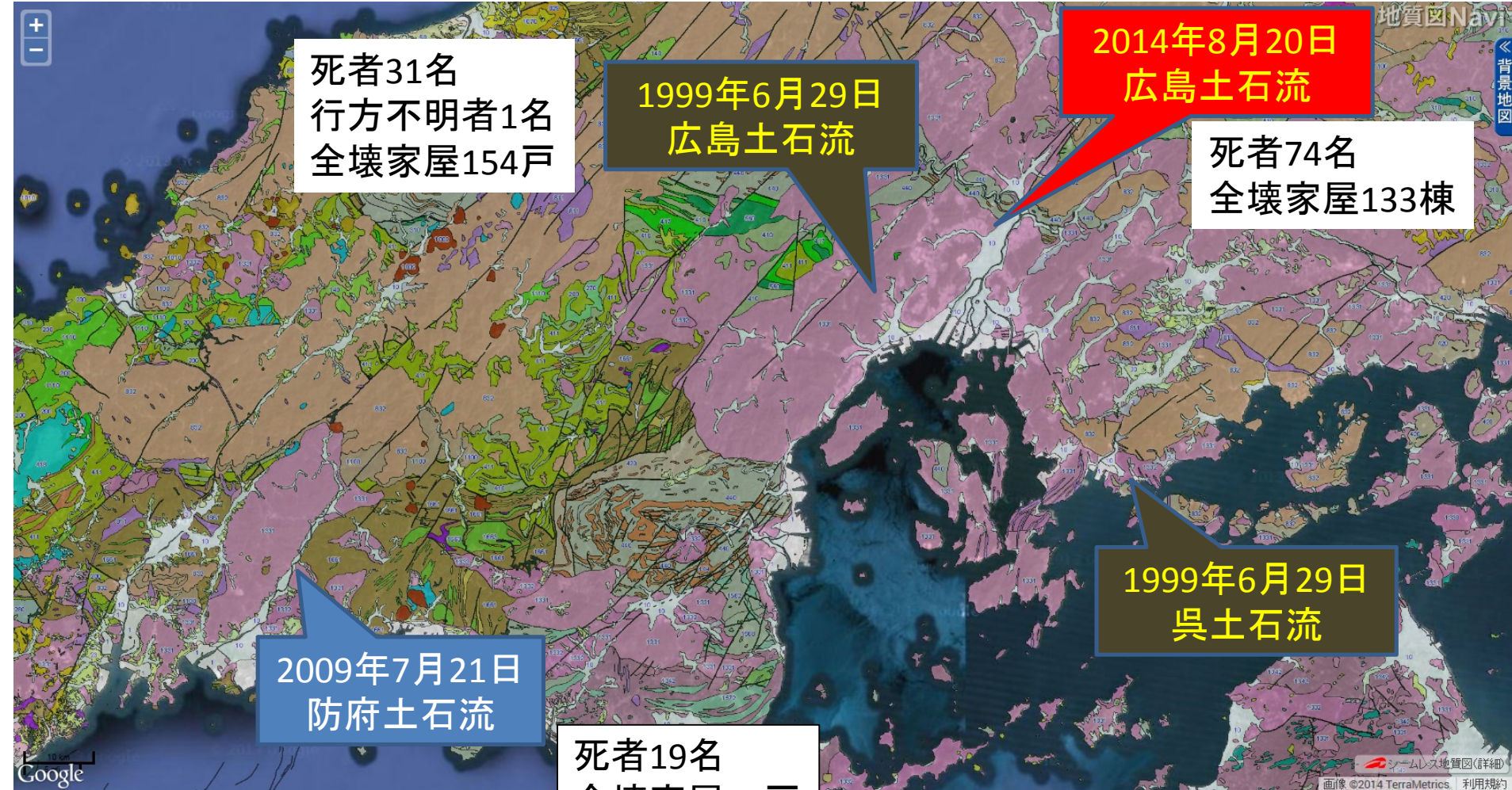
1999年6月29日
呉土石流

2009年7月21日
防府土石流

死者19名
全壊家屋30戸



花崗岩



独立行政

センター

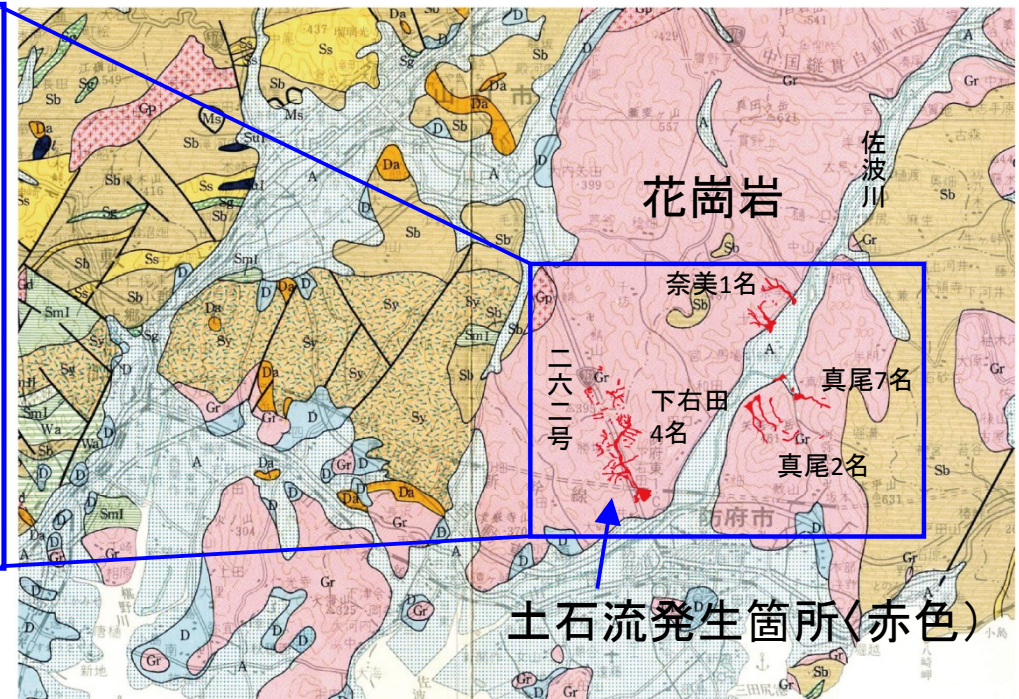
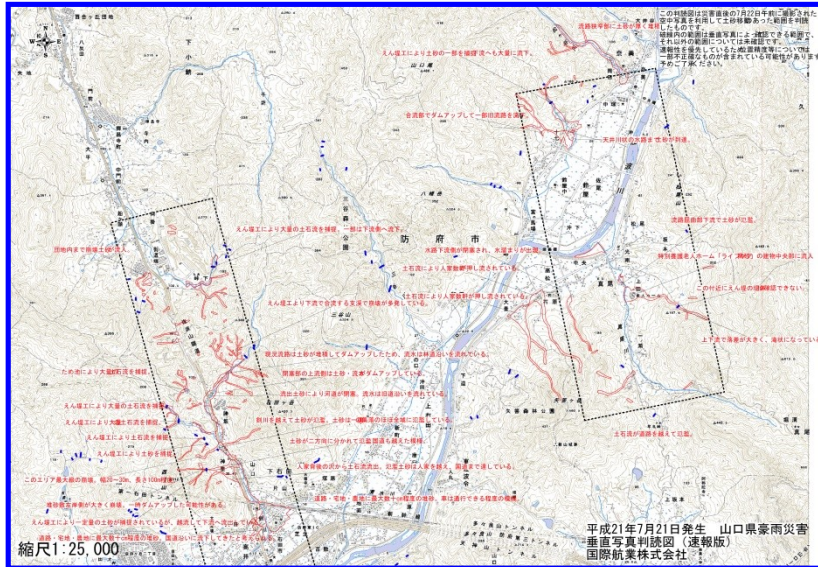
2009年山口県防府豪雨における土石流災害の特徴

1. 土石流が発生した箇所は、**Gr(新期花崗岩)**にのみ認められる。
2. 大規模な土石流により住家被害大
3. 3度目の降水イベントで発生
(6~12時の6時間、220mm)
4. 風化した花崗岩(まさ土)が大量に堆積

山口市内は降水は防府市より多いが
流紋岩であるため安定

山口県地質図15万分の1

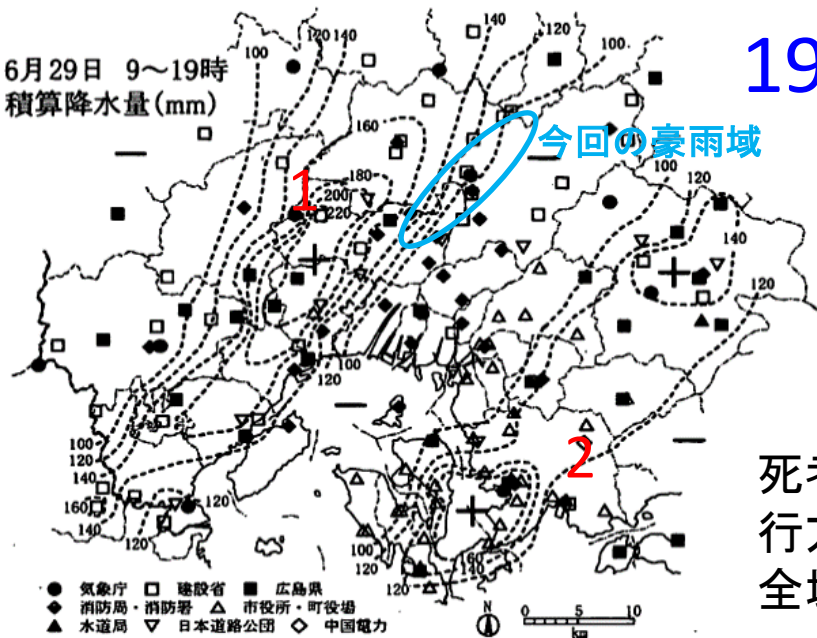
- Da:酸性岩脈類(白亜紀)
 - Gr:新期花崗岩
 - Gp:花崗斑岩類
 - Sml:下関亜層群下部層
(砂岩・凝灰質砂岩・礫岩・頁岩)(関門層群)
 - Sy:周南層群 (関門層群)
 - Sb:三波川 泥質片岩
- 防府市
- 死者14名
 - 重傷者1名
 - 全壊23棟
 - 半壊26棟
 - 一部損壊16棟
 - 床上浸水152棟
 - 床下浸水812棟



国際航業株式会社
垂直写真判読図(速報版)

1999年6月29日広島・呉豪雨

6月29日 9~19時
積算降水量(mm)



今回の豪雨域

1. 佐伯区～安佐北区
北東－南西の带状豪雨域

長さ15km × 幅3km

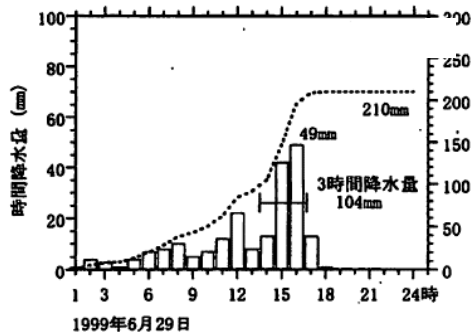
2. 呉～東広島(15-17時) 異なる降水イベント

死者31名
行方不明者1名
全壊家屋154戸

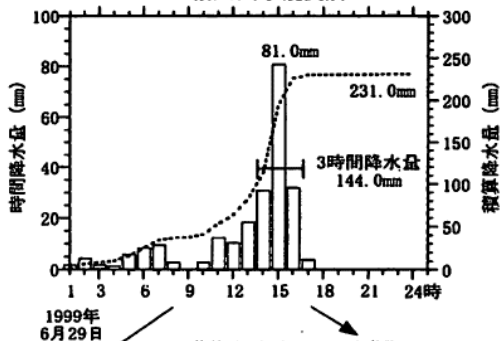
特徴

1. 昼間の豪雨(12～16時)
2. 最大1時間降水量81mm
3. 最大3時間降水量147mm

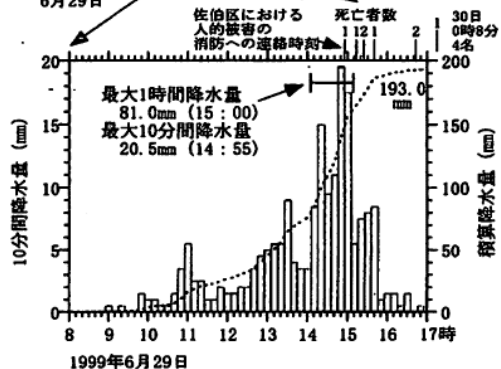
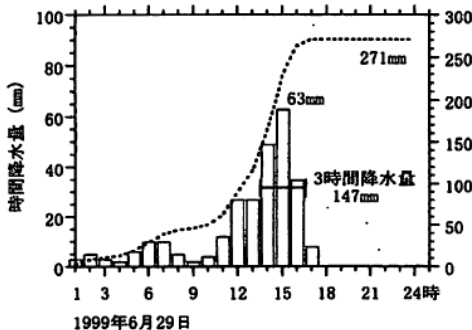
鈴張雨量観測所



八幡川気象観測所



戸山雨量観測所



広島市佐伯区上小深川地区で発生した土石流災害
(広島県広島市佐伯区五日市町上小深川、1999年7月1日撮影)

平成の風水害

地域防災力の向上を目指して

(独)日本学術振興会
平成25年度科学研究費補助金
研究成果公開促進費(学術図書)

序章 課題と方法

第1章 風水害の概要と防災情報の整備

第2章 風水害の特徴

1. 強風災害(2事例)
2. 竜巻災害(3事例)
3. 土砂・洪水災害(9事例) **1999年広島豪雨**
4. 高潮災害・潮風害(3事例)

第3章 雨量・気象災害画像データベースの構築と利活用

1. 水害発生時の防災意識・行動に関するアンケート調査
2. 3D映像とGISを融合した避難路見える化ツールの開発
3. 風水害に関する防災教育支援プログラムの開発と実践

第4章 減災のための地域防災力の向上

終章

山本 晴彦:著

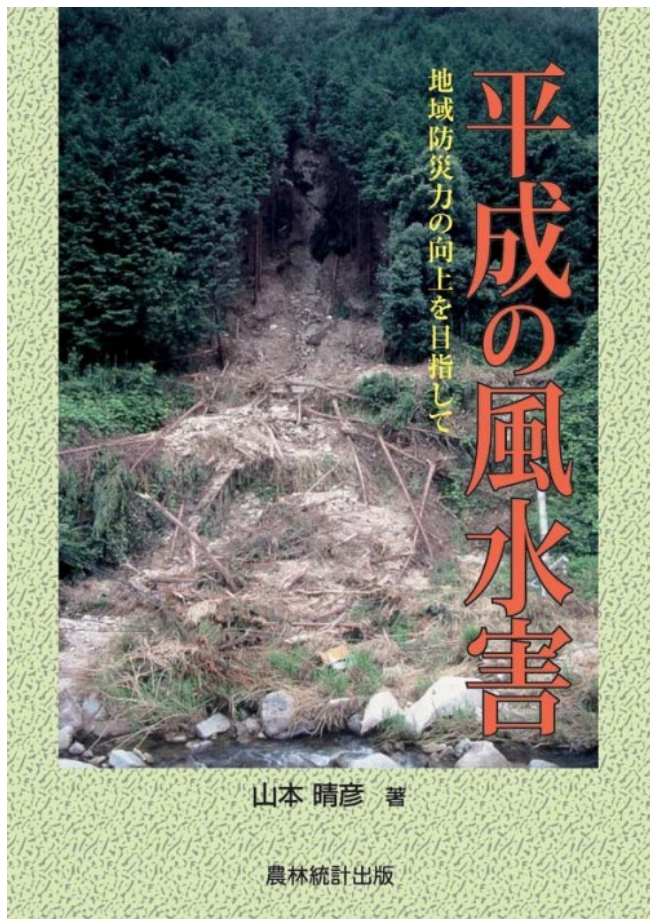
A5判 530ページ 並製 (カラーページ4/5)

定価:7,400円+税

初版発行年月:**2014年2月28日**

出版社:農林統計出版(株)

ISBN 978-4-89732-286-5 C3044



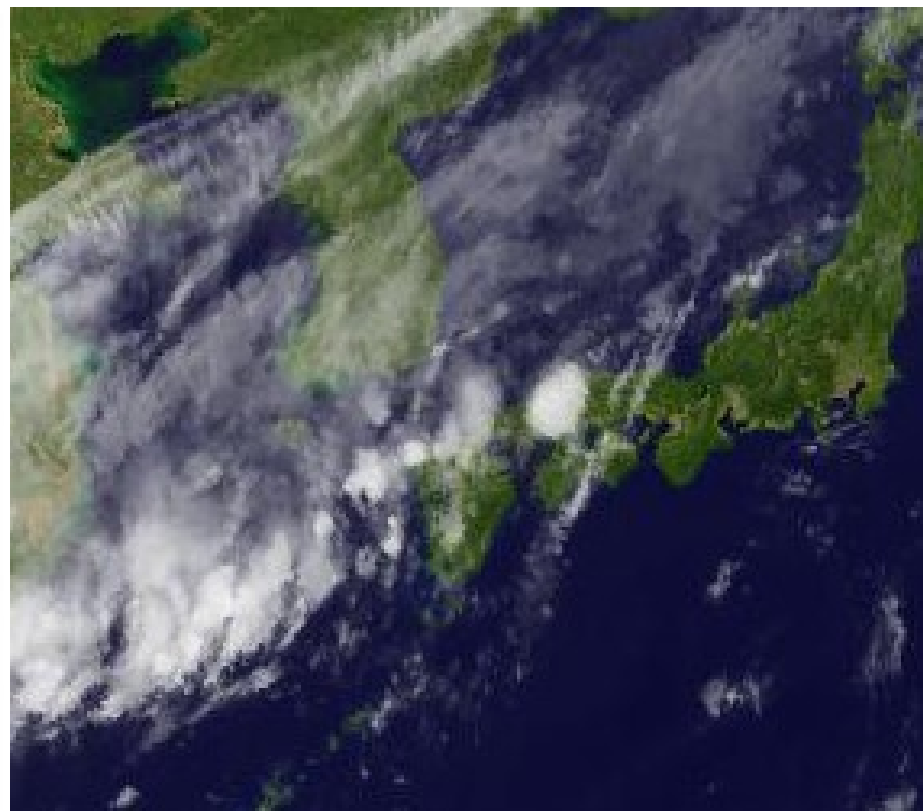
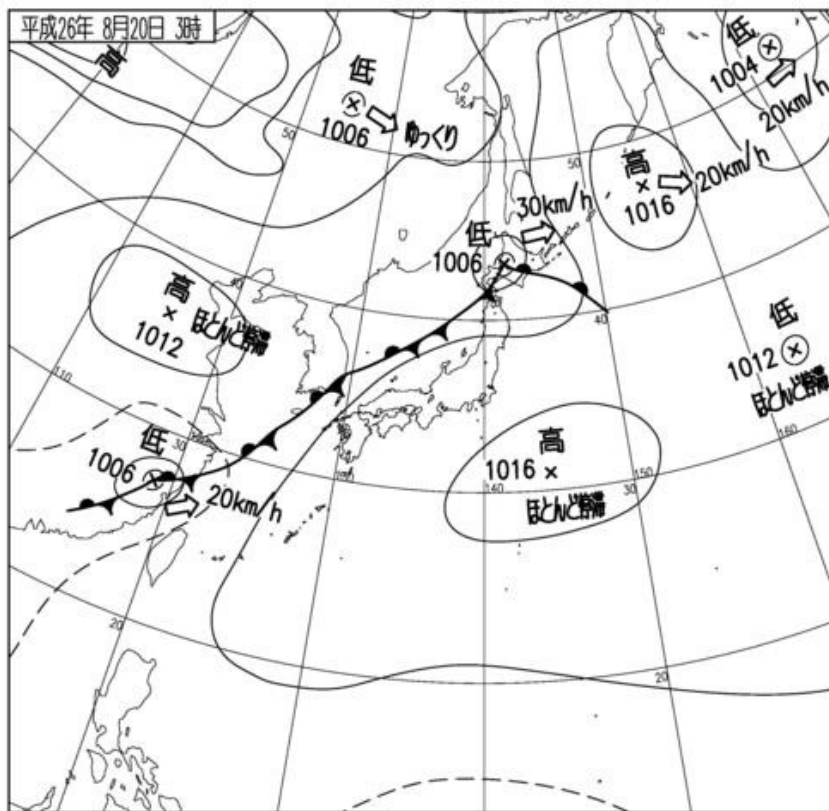
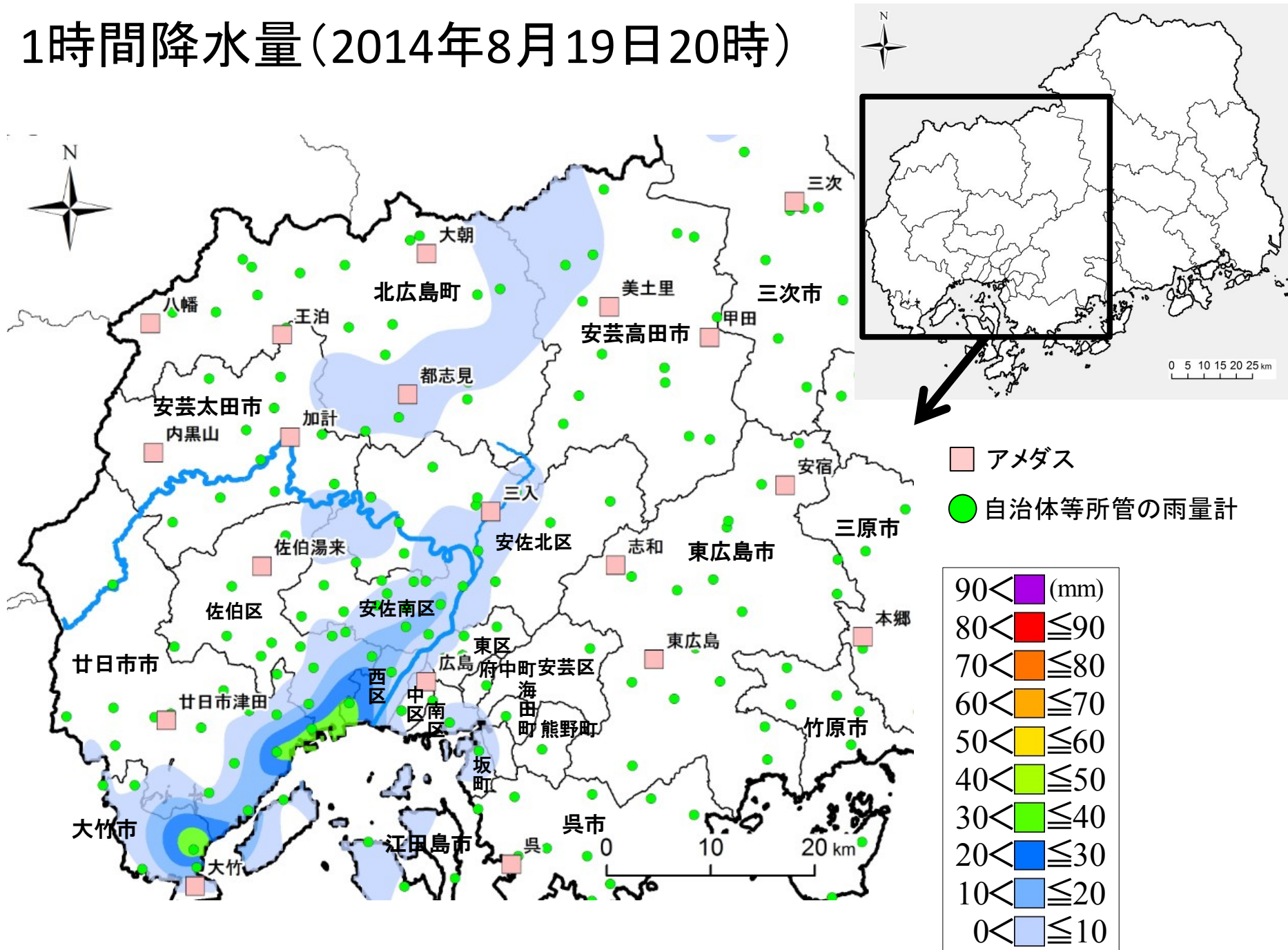
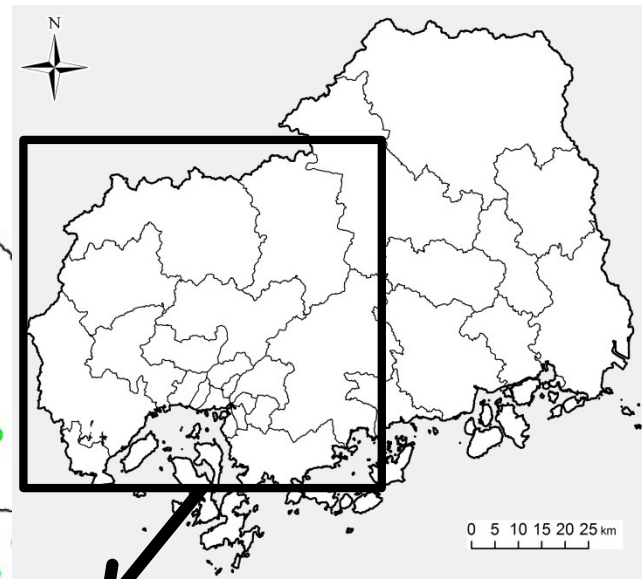
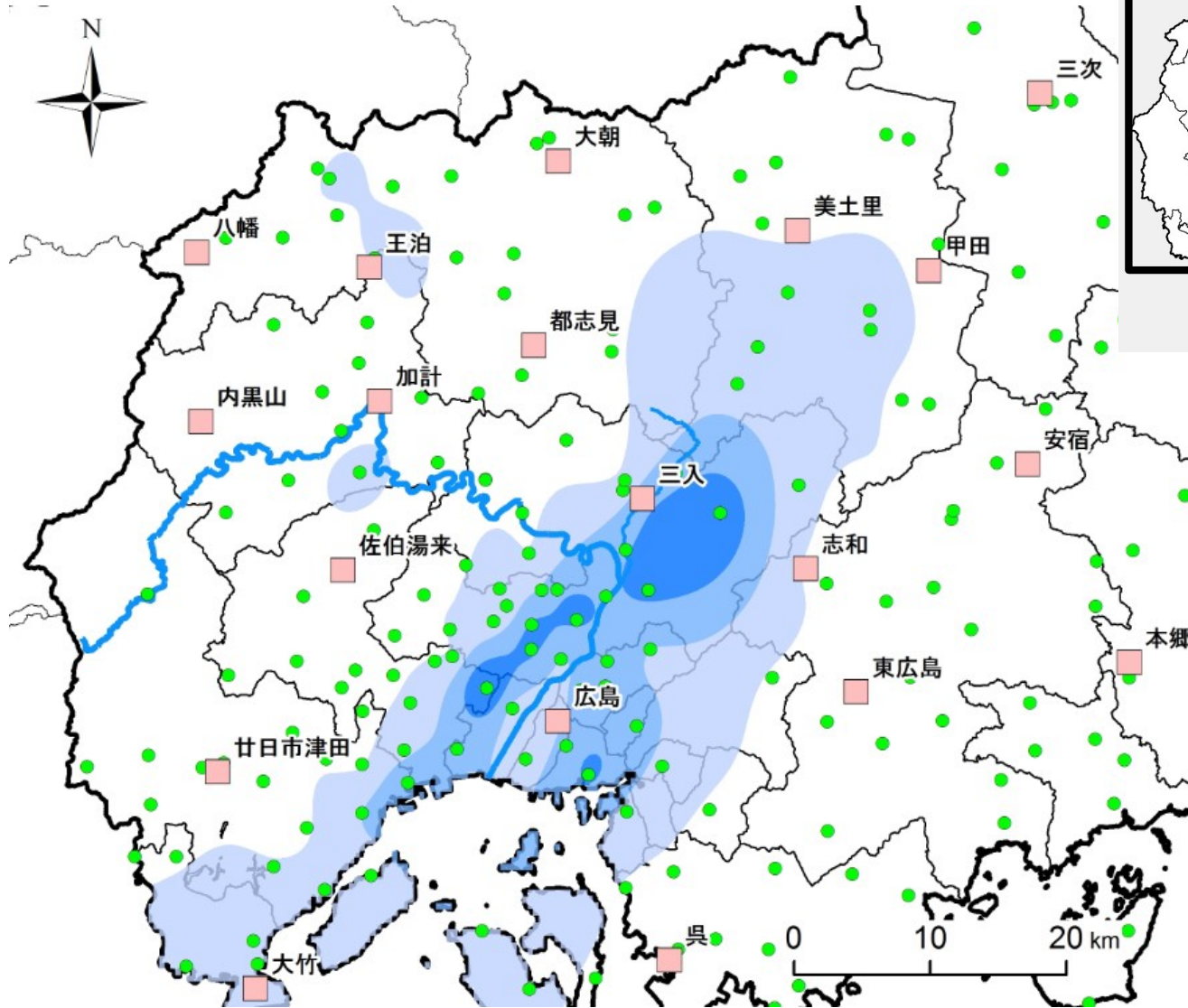


図1 2014年8月20日3時の地上天気図と
気象衛星「ひまわり7号」による赤外画像

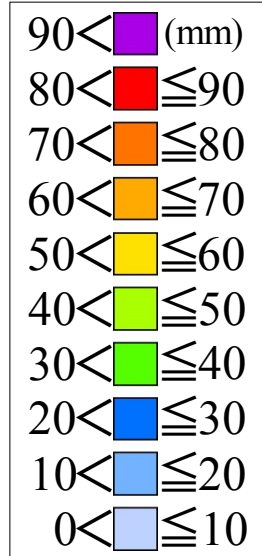
1時間降水量(2014年8月19日20時)



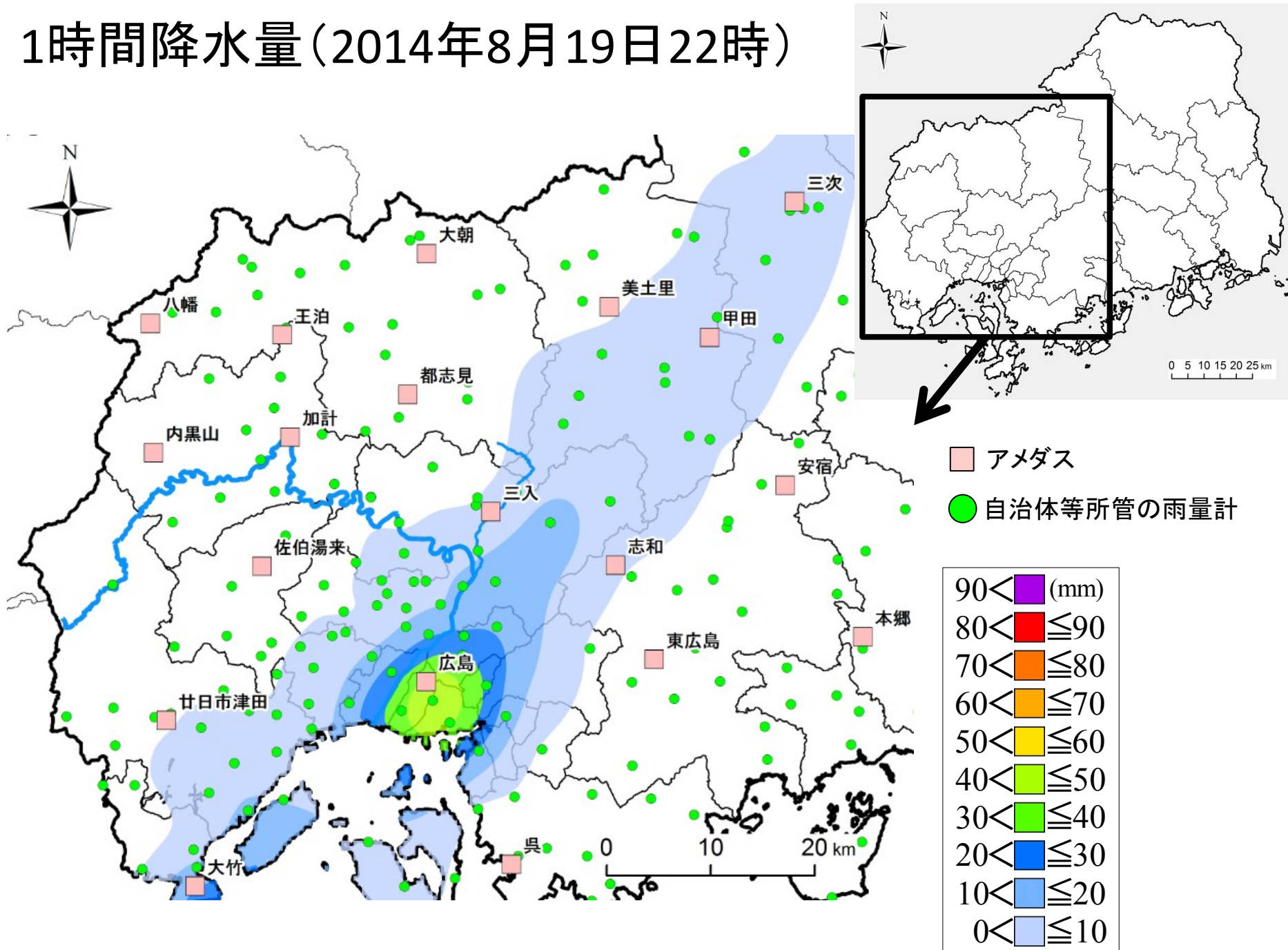
1時間降水量(2014年8月19日21時)



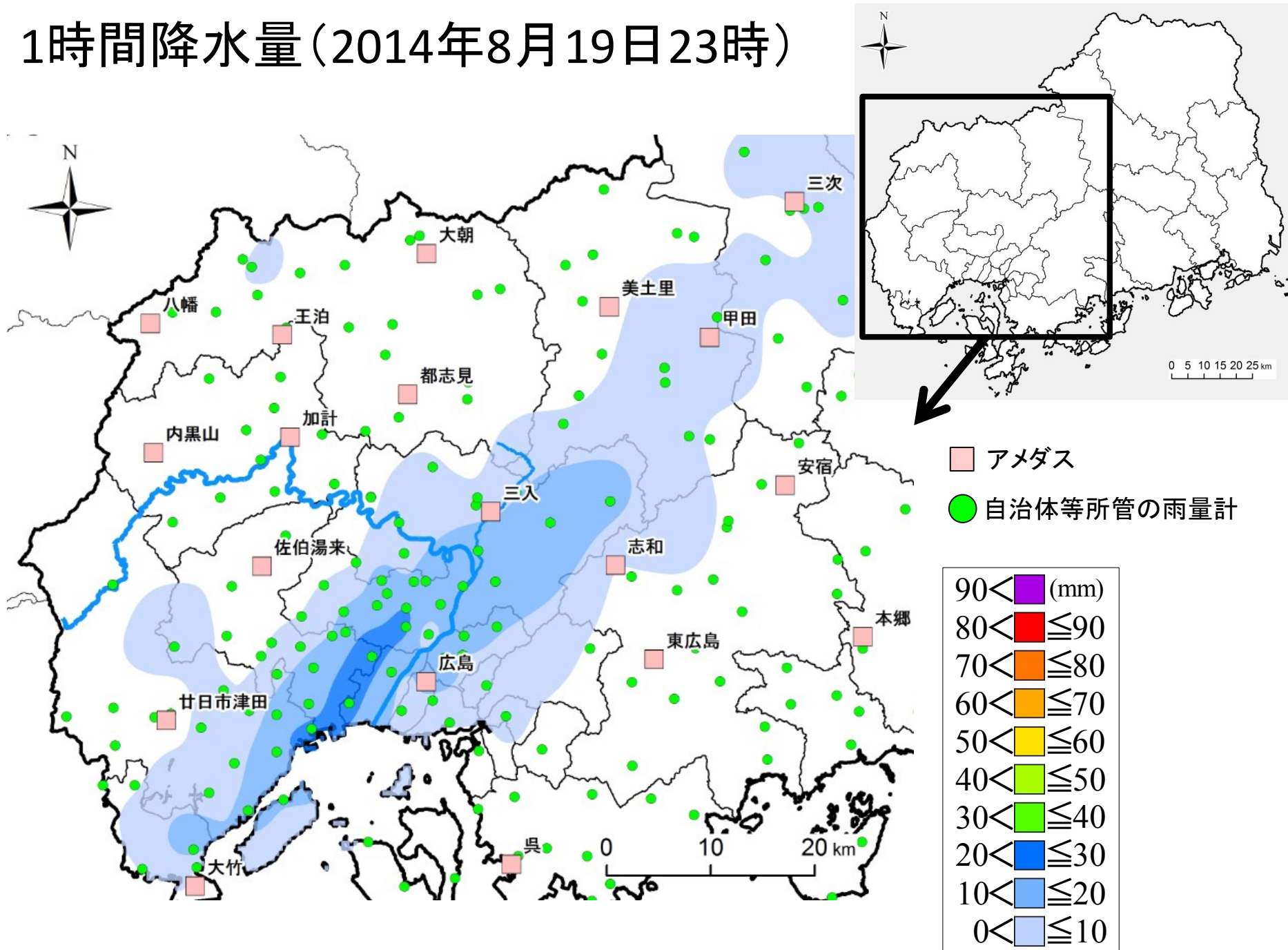
- アメダス
- 自治体等所管の雨量計



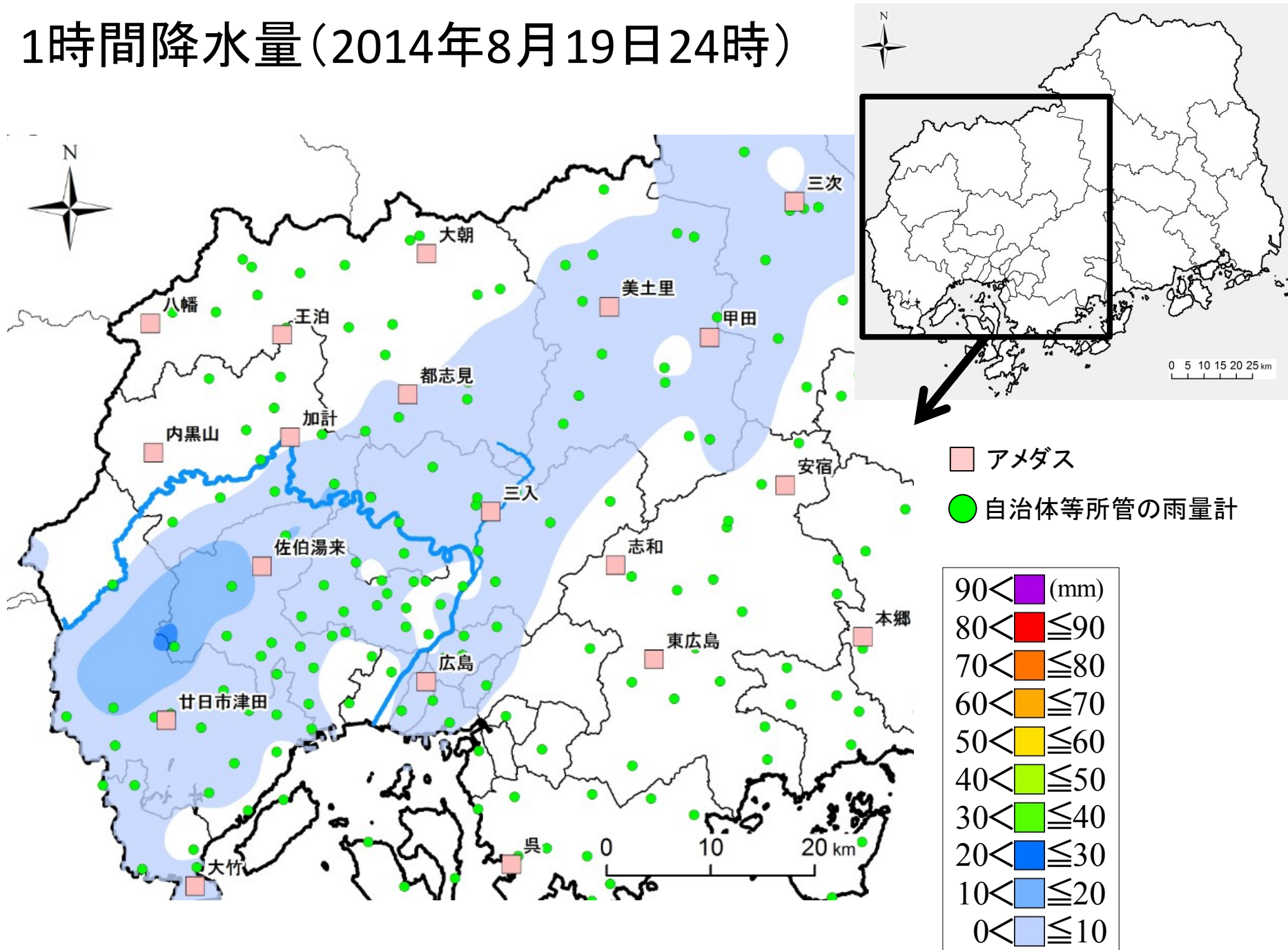
1時間降水量(2014年8月19日22時)



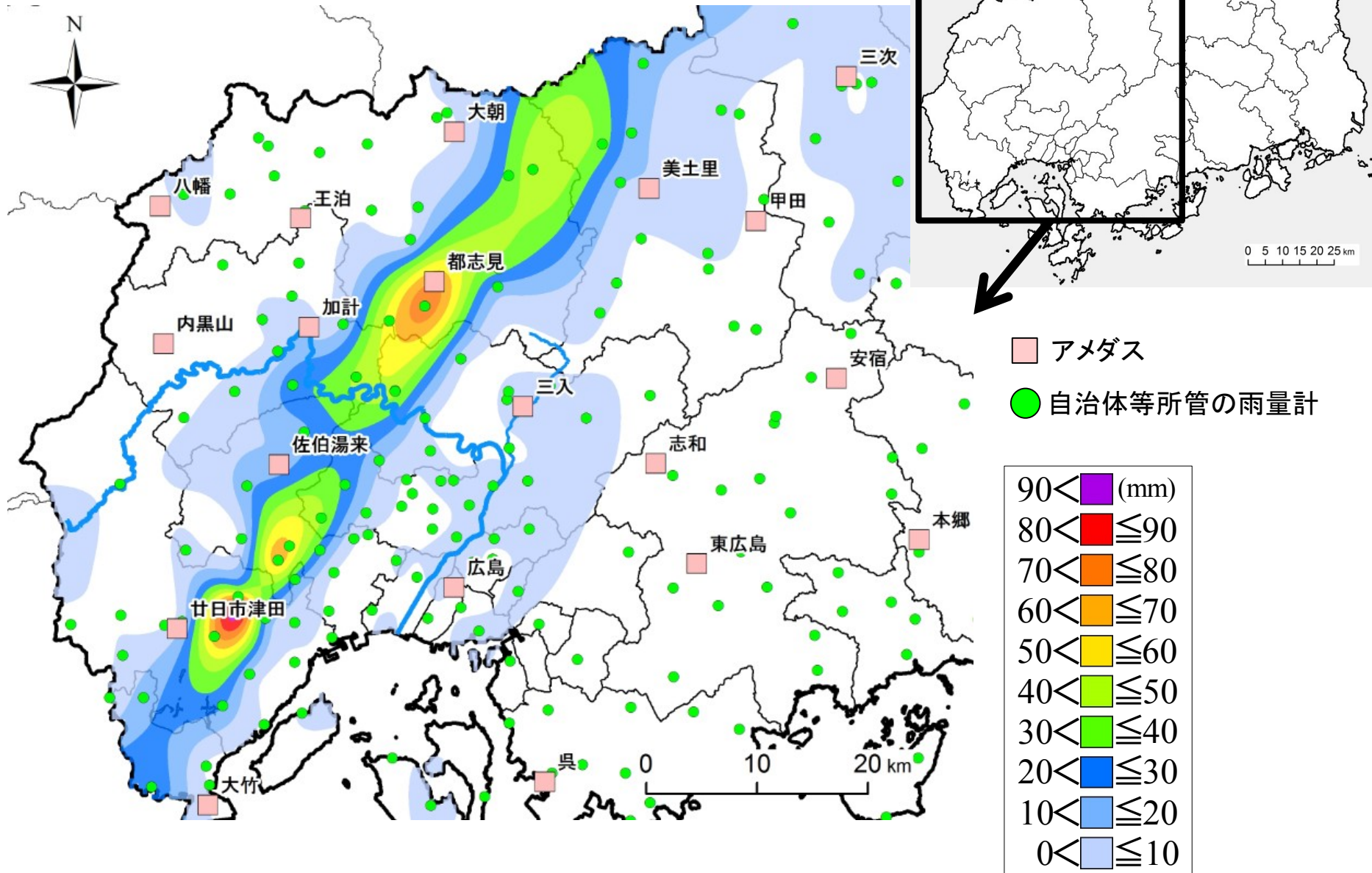
1時間降水量(2014年8月19日23時)



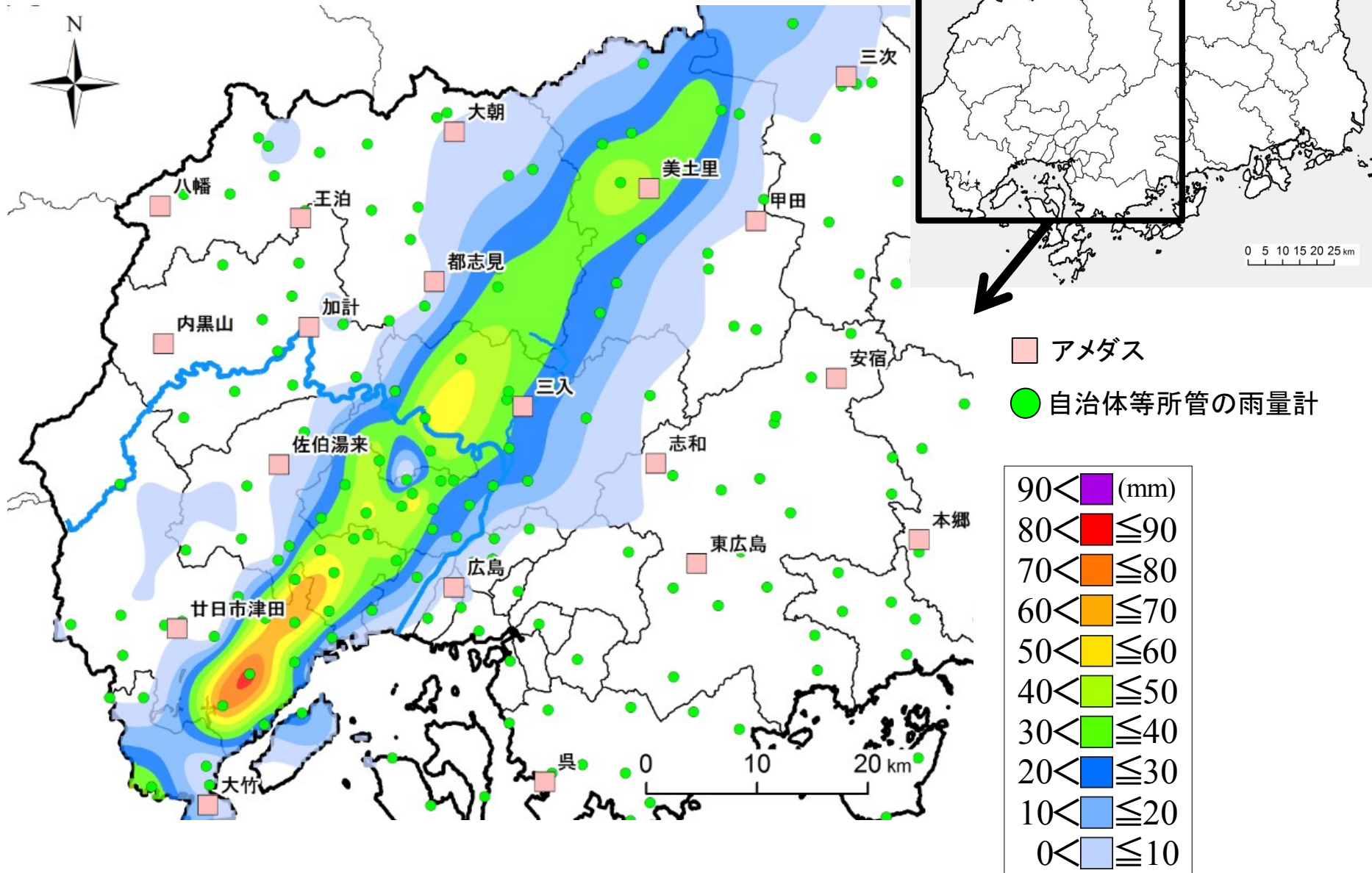
1時間降水量(2014年8月19日24時)



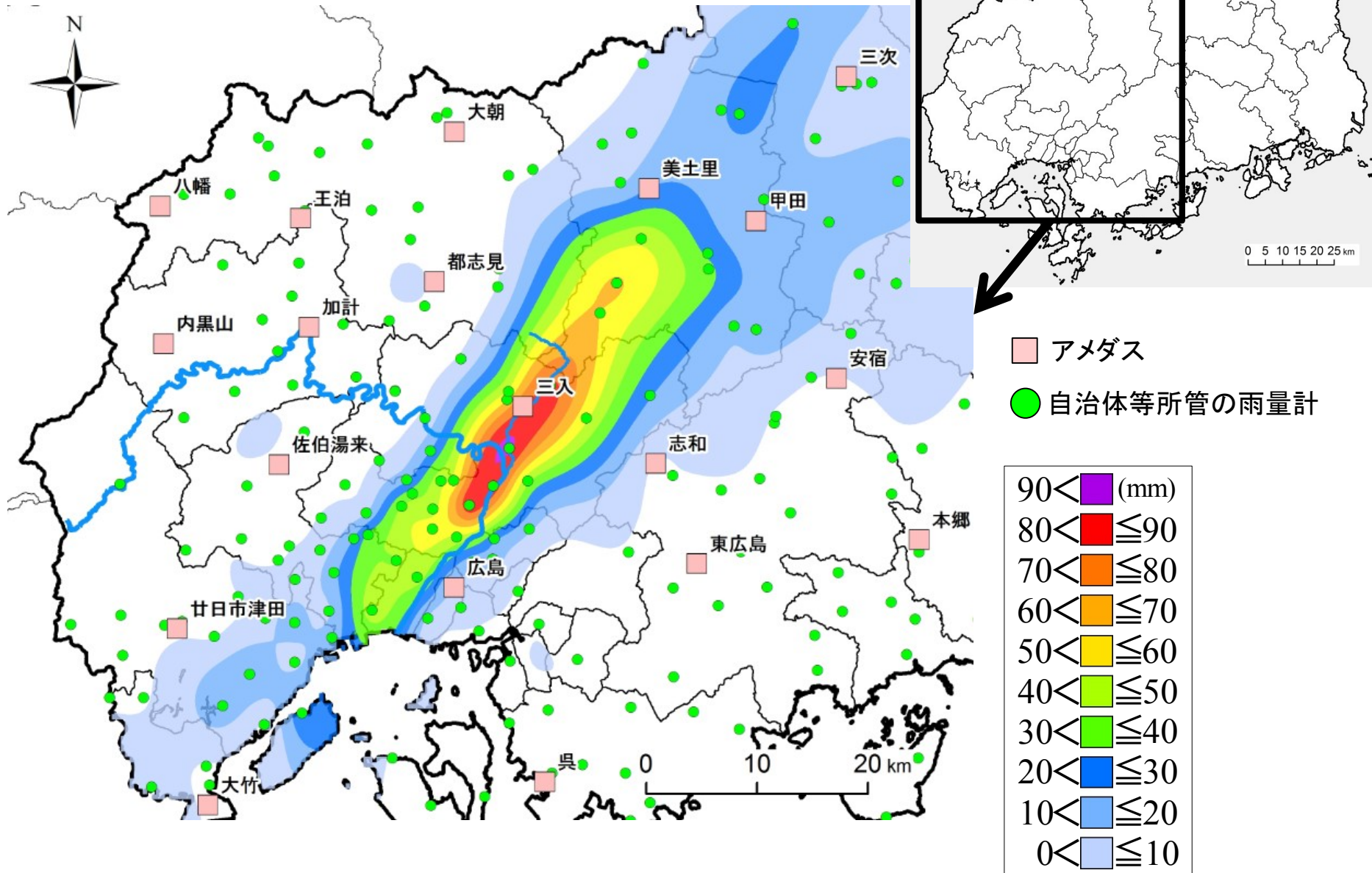
1時間降水量(2014年8月20日1時)



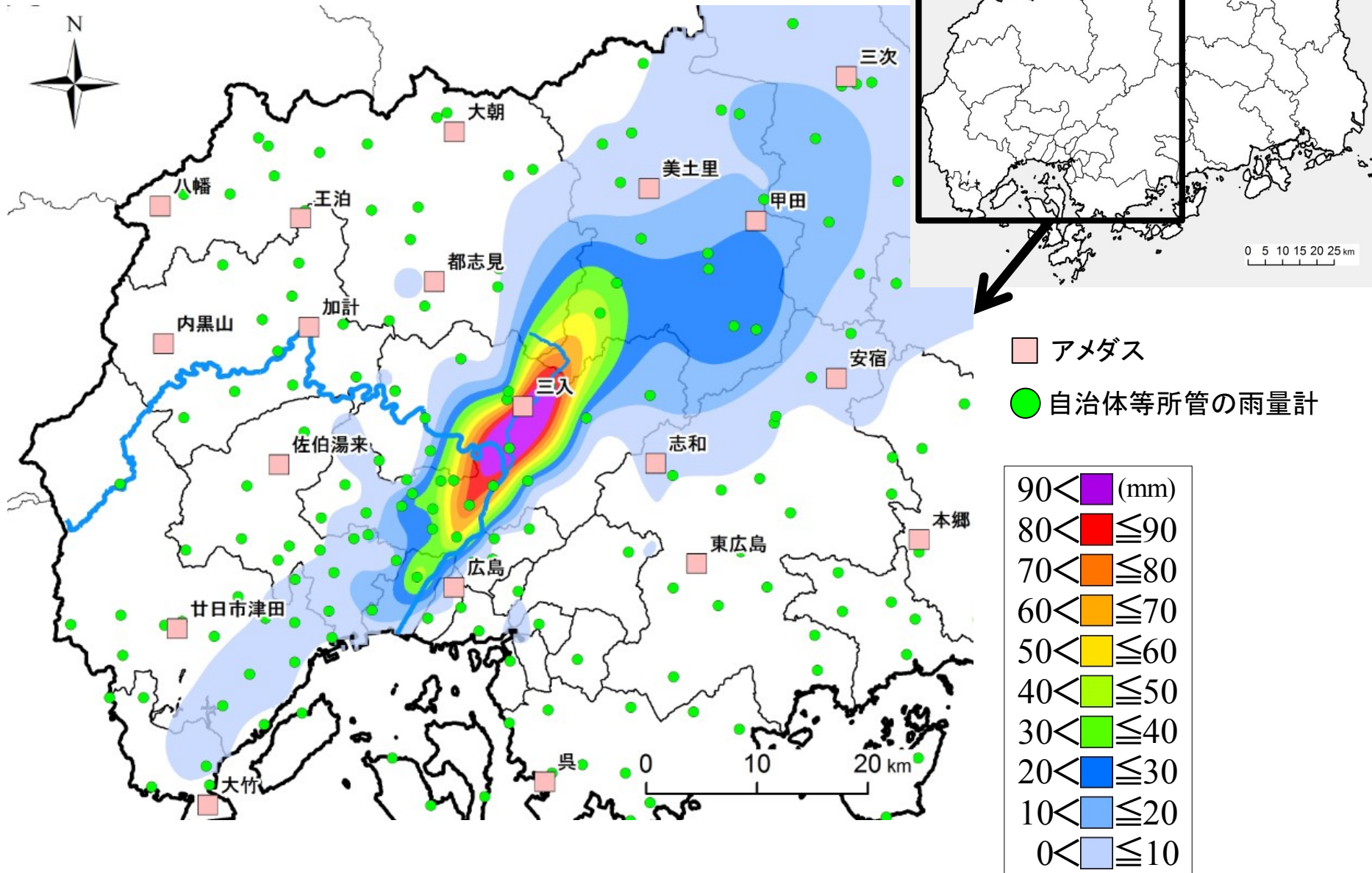
1時間降水量(2014年8月20日2時)



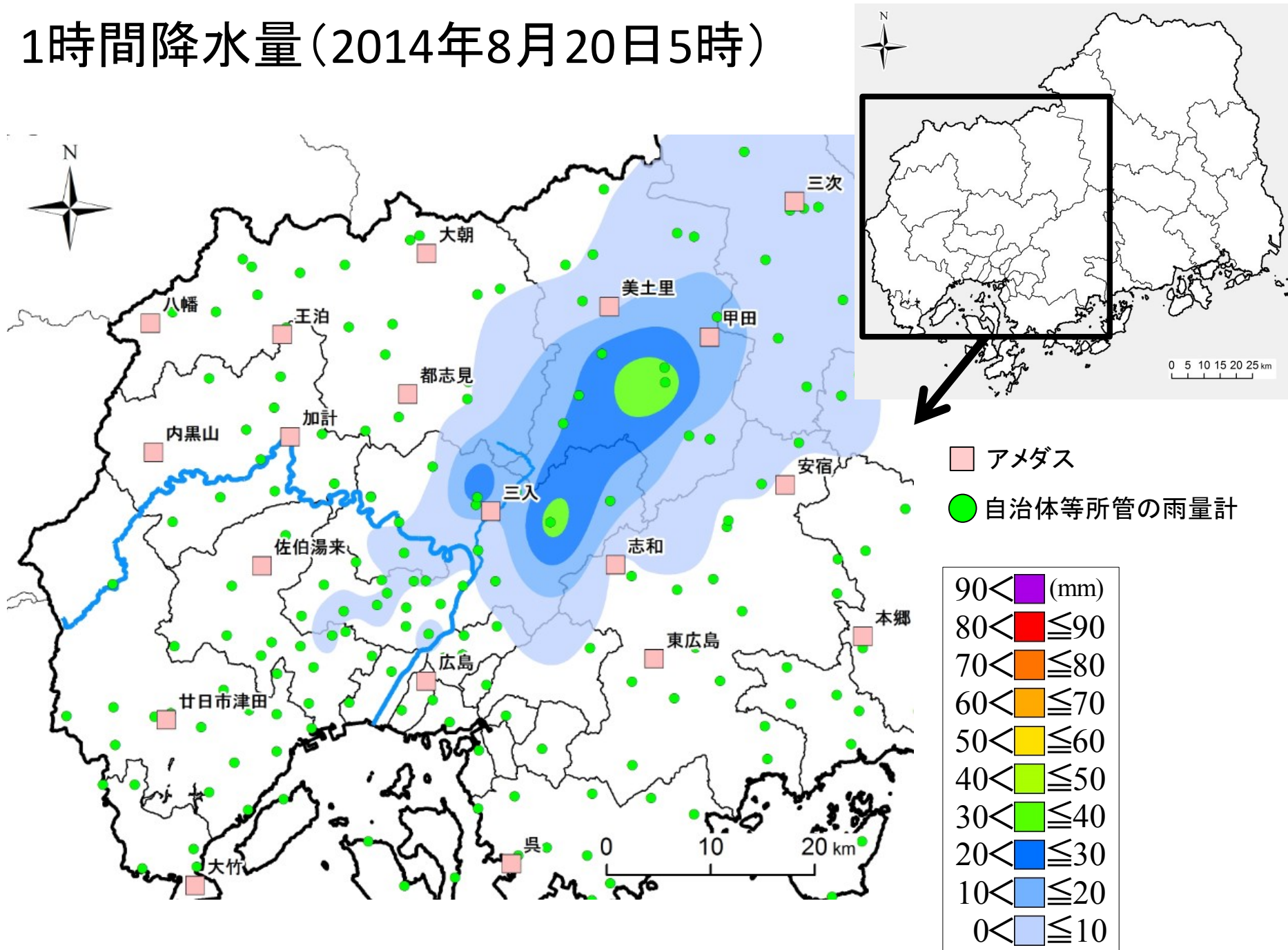
1時間降水量(2014年8月20日3時)



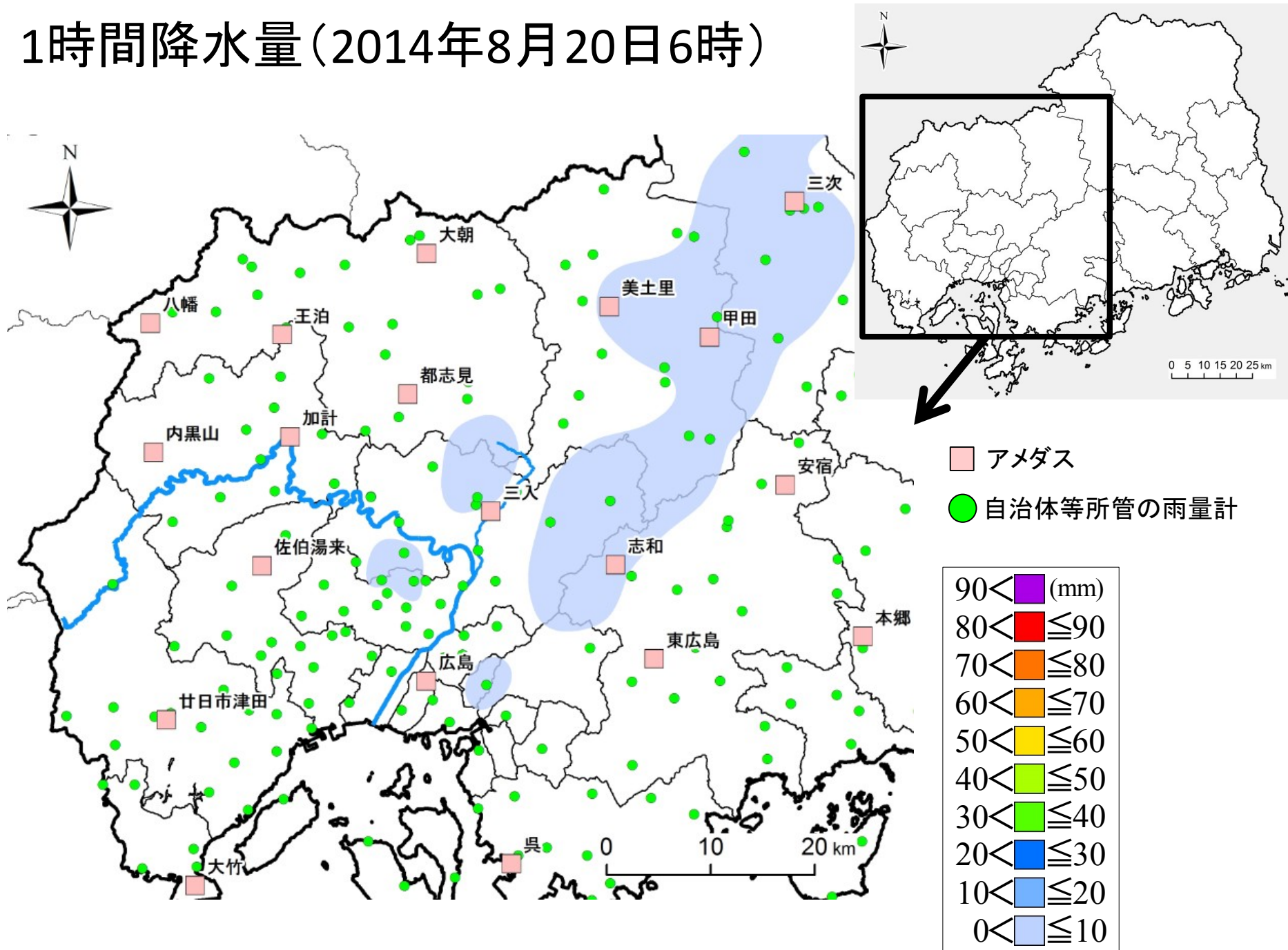
1時間降水量(2014年8月20日4時)



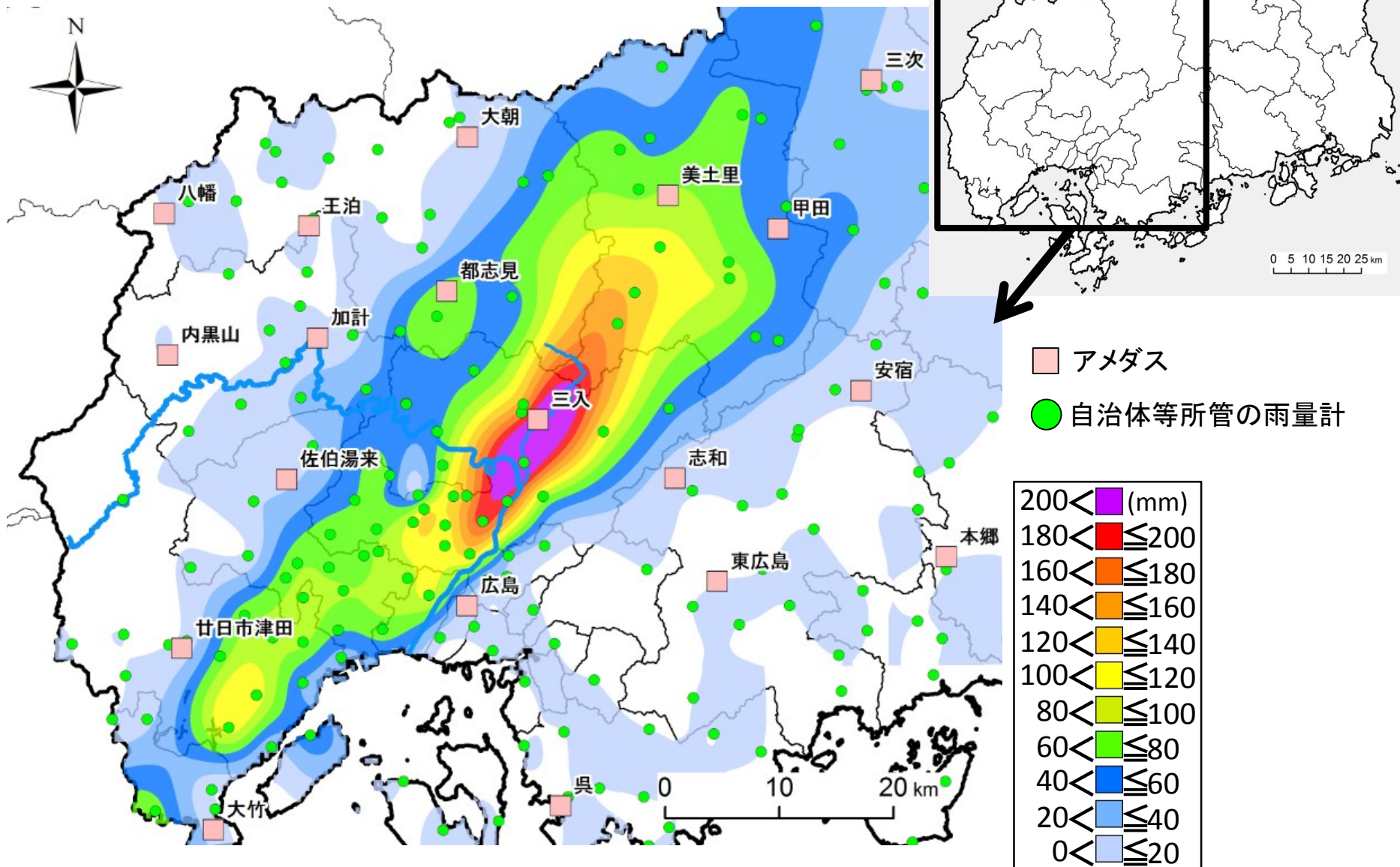
1時間降水量(2014年8月20日5時)



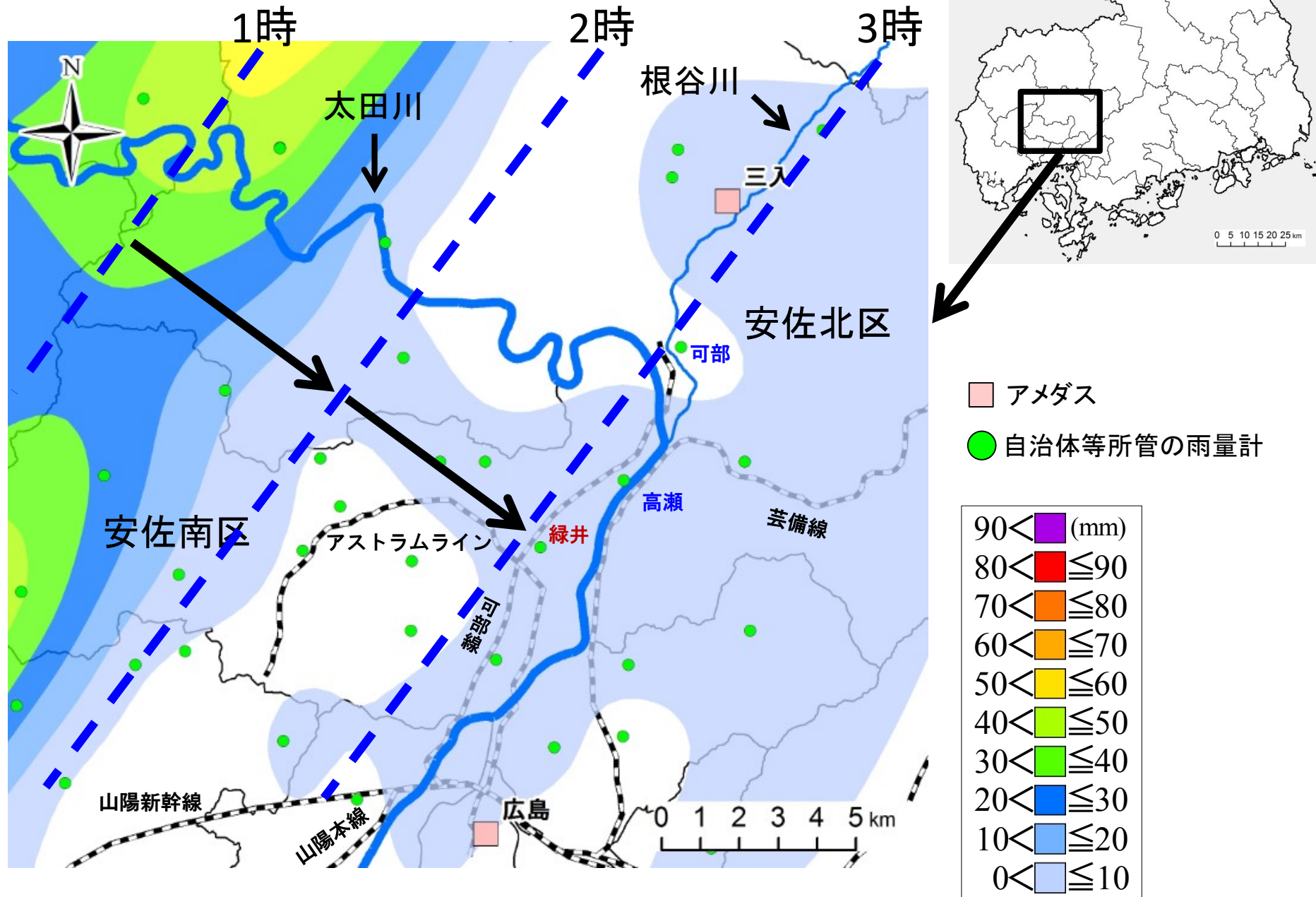
1時間降水量(2014年8月20日6時)



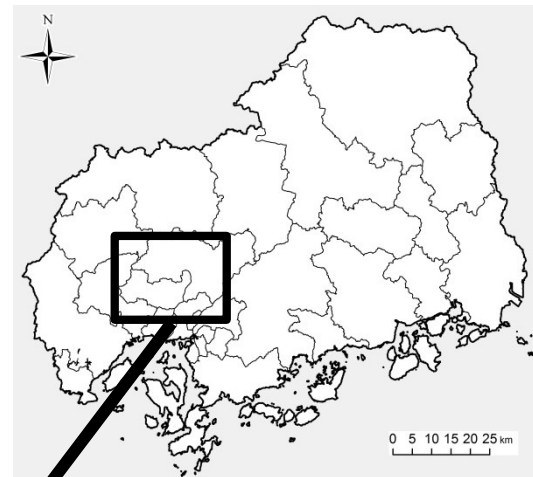
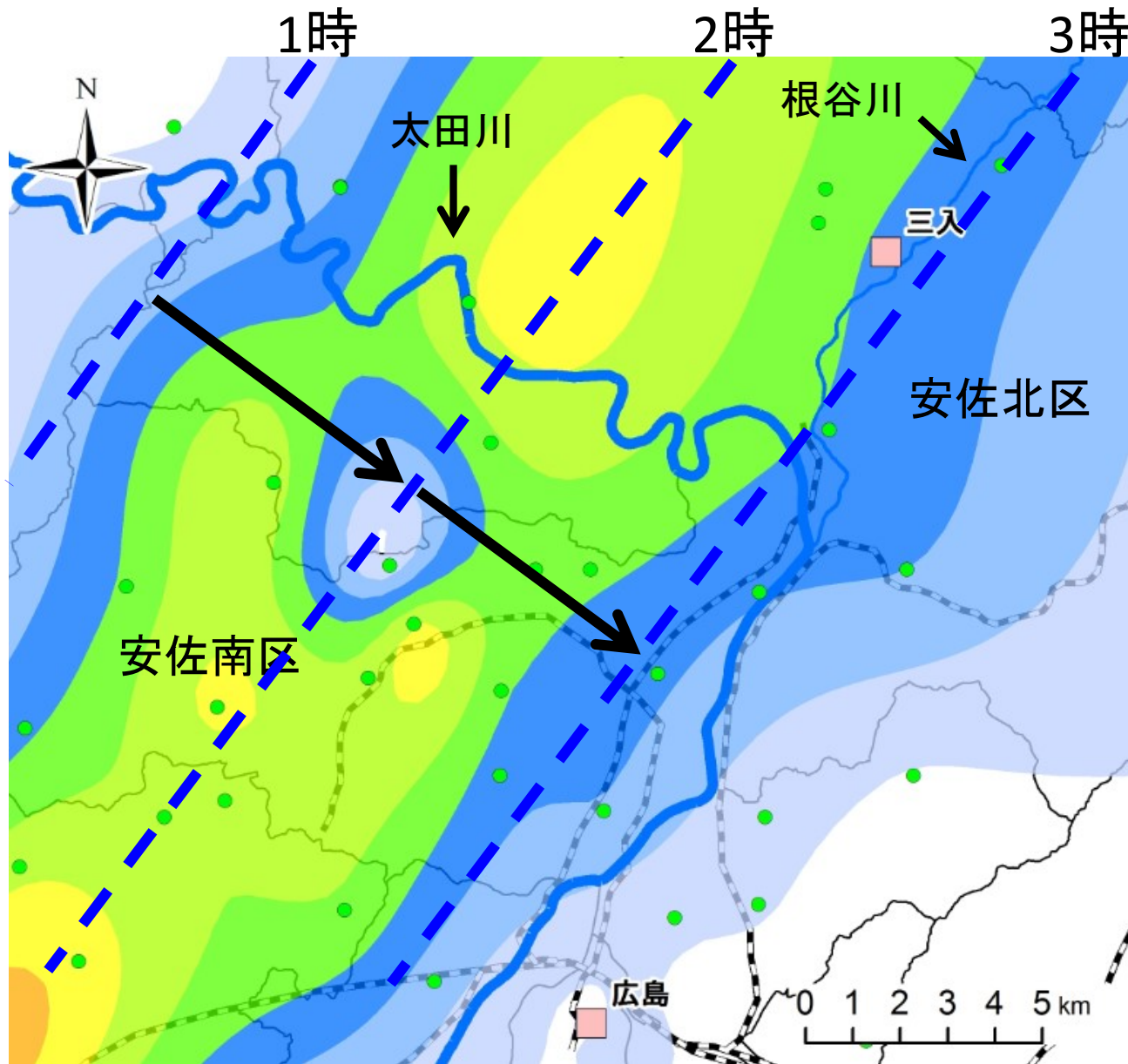
積算降水量(2014年8月20日0時～6時)



1時間降水量(2014年8月20日1時)

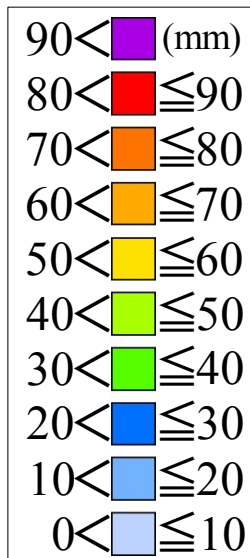


1時間降水量(2014年8月20日2時)

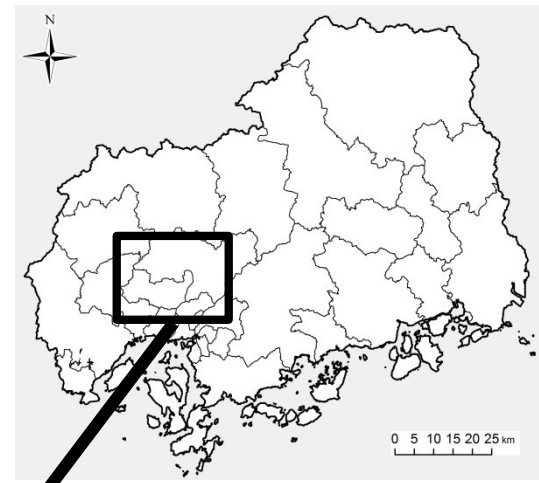
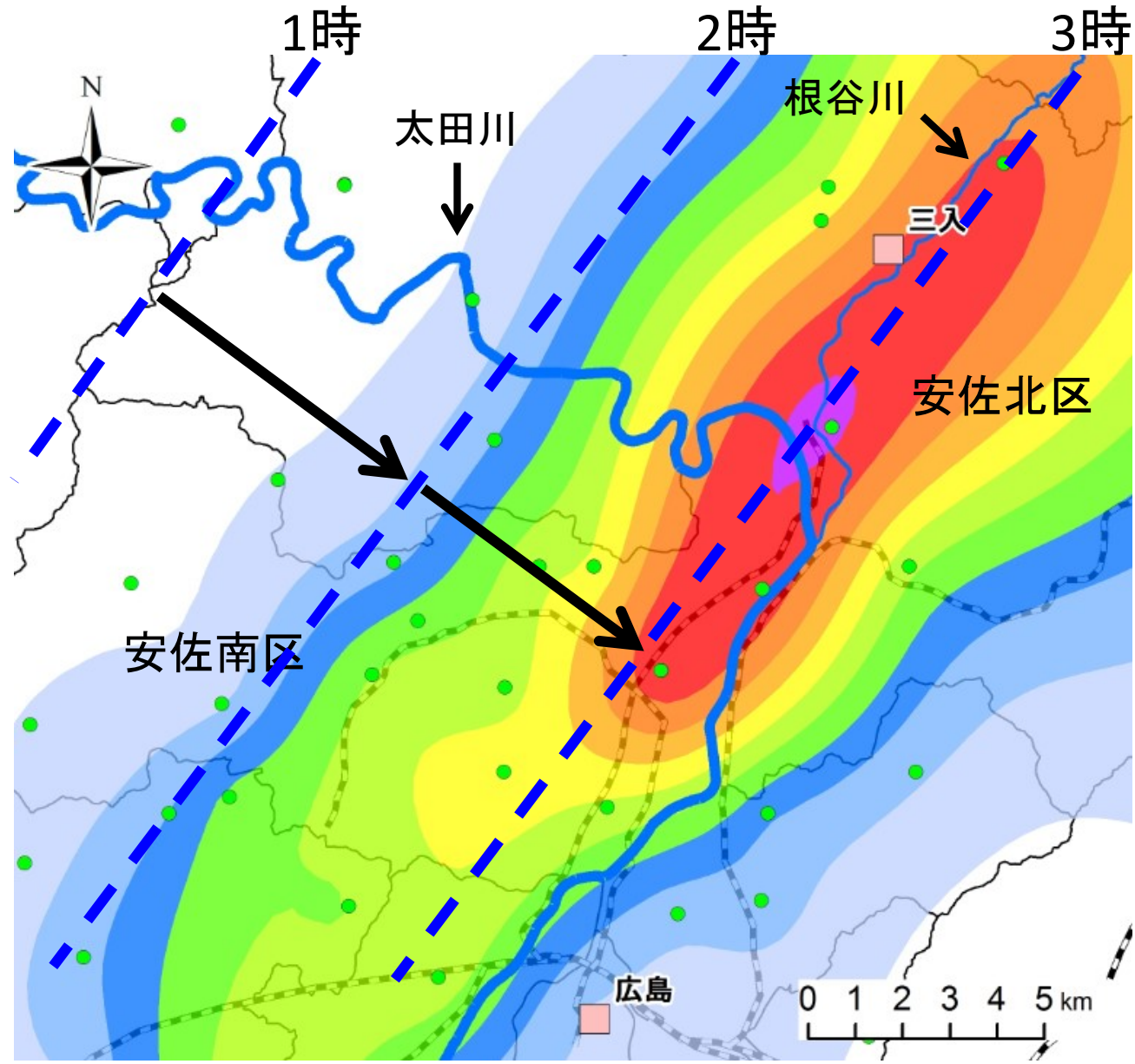


アメダス

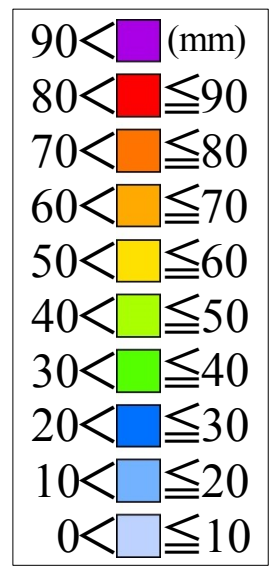
自治体等所管の雨量計



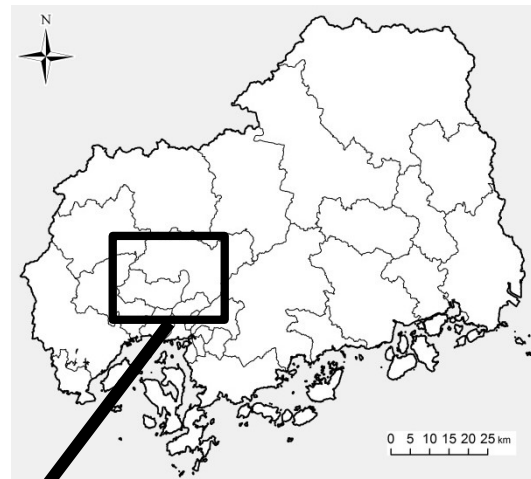
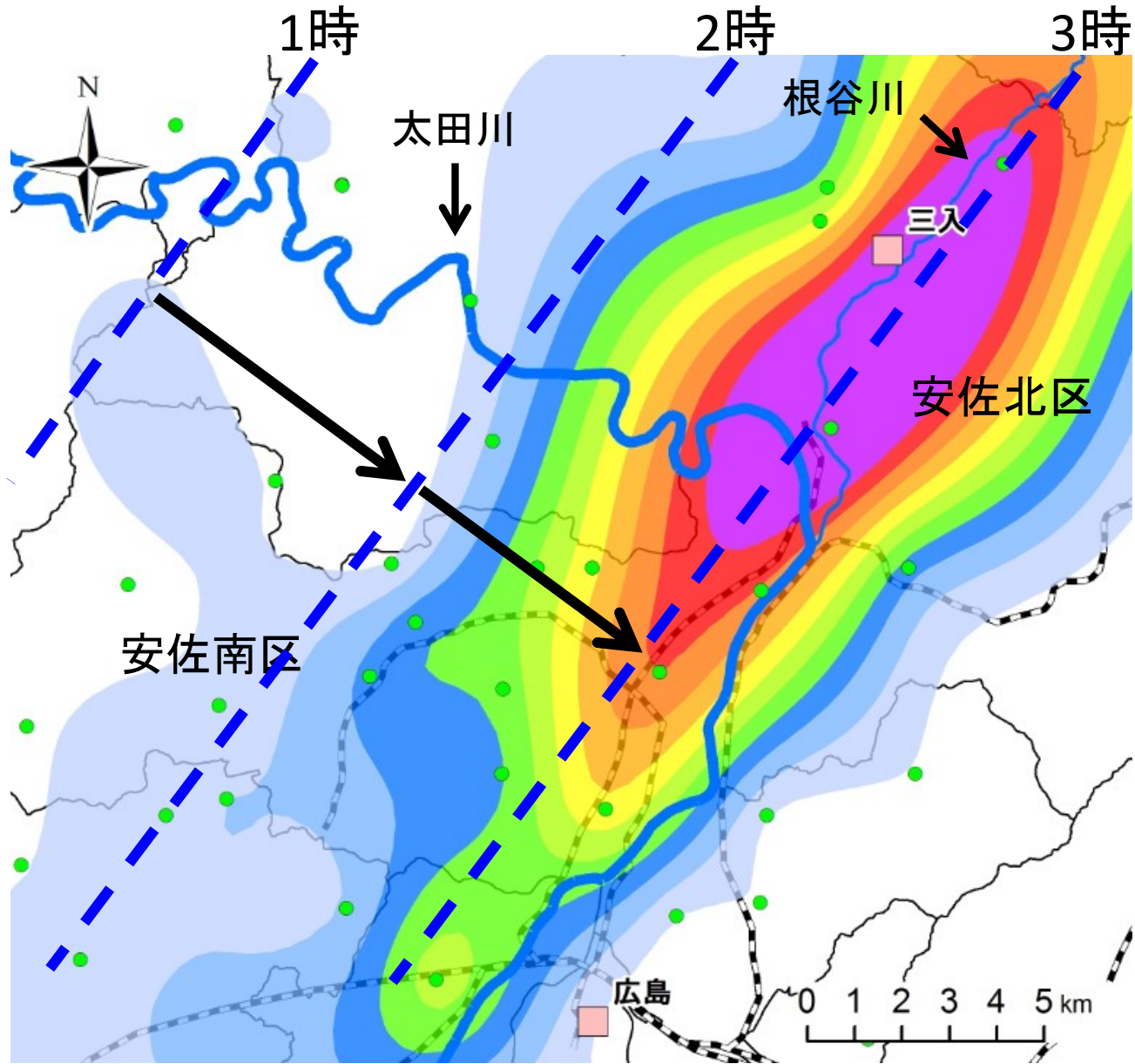
1時間降水量(2014年8月20日3時)



- アメダス
- 自治体等所管の雨量計

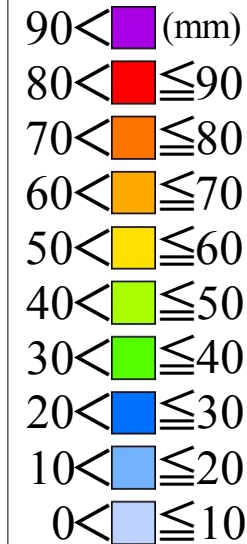


1時間降水量(2014年8月20日4時)

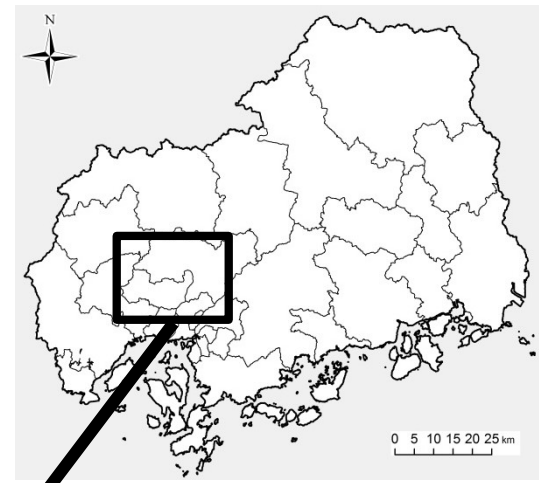
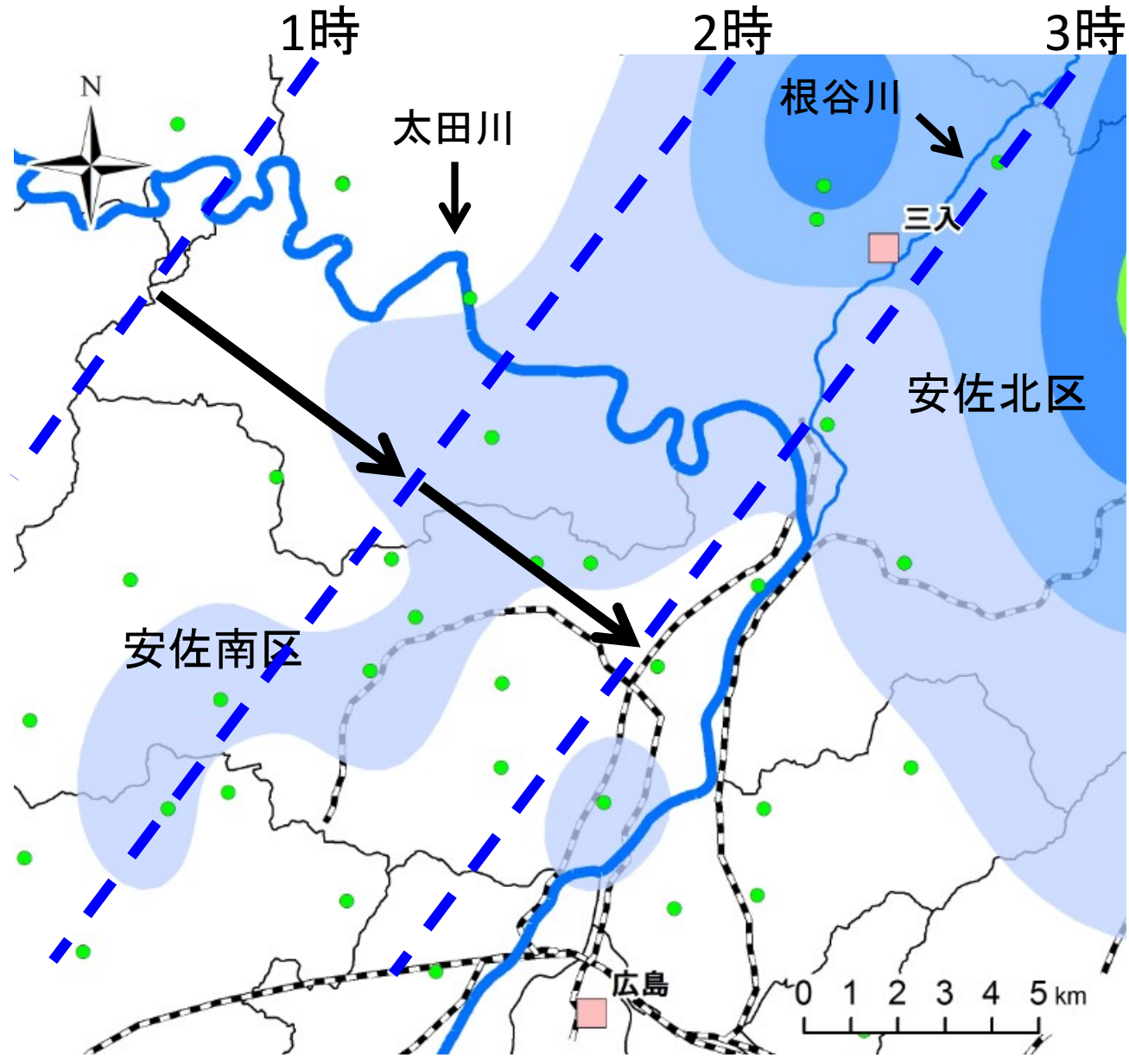


アメダス

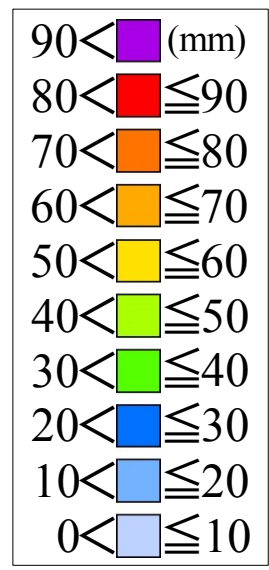
自治体等所管の雨量計



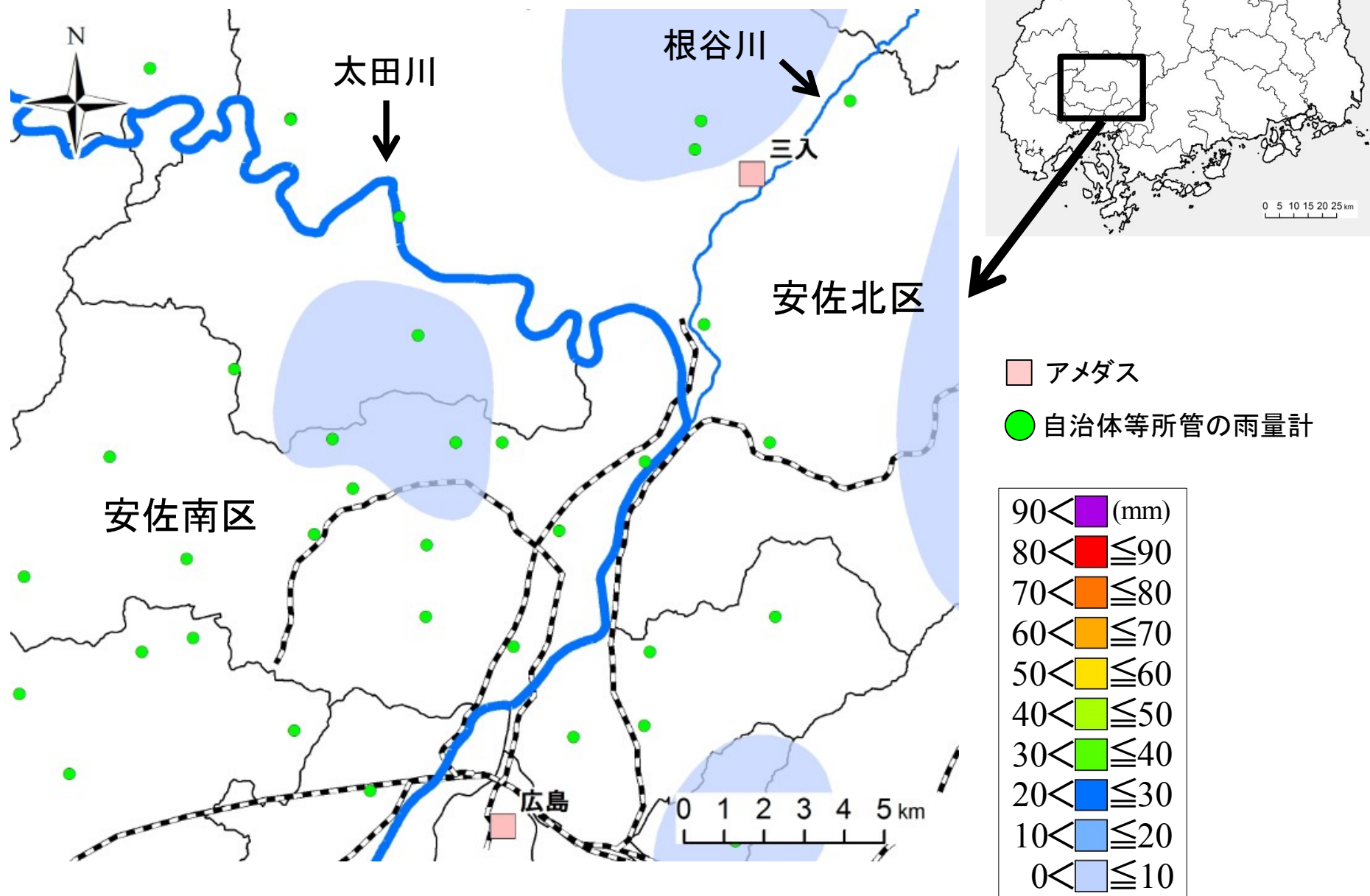
1時間降水量(2014年8月20日5時)



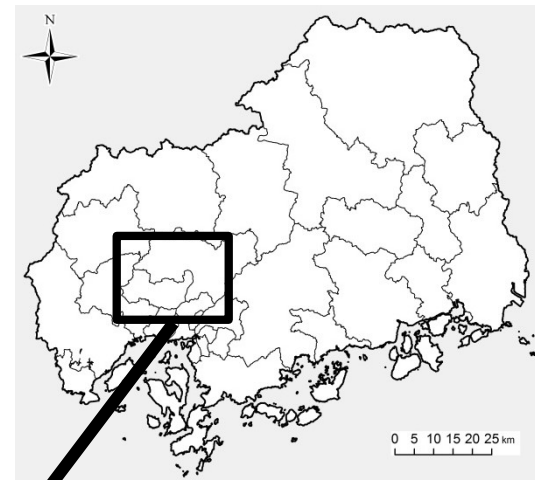
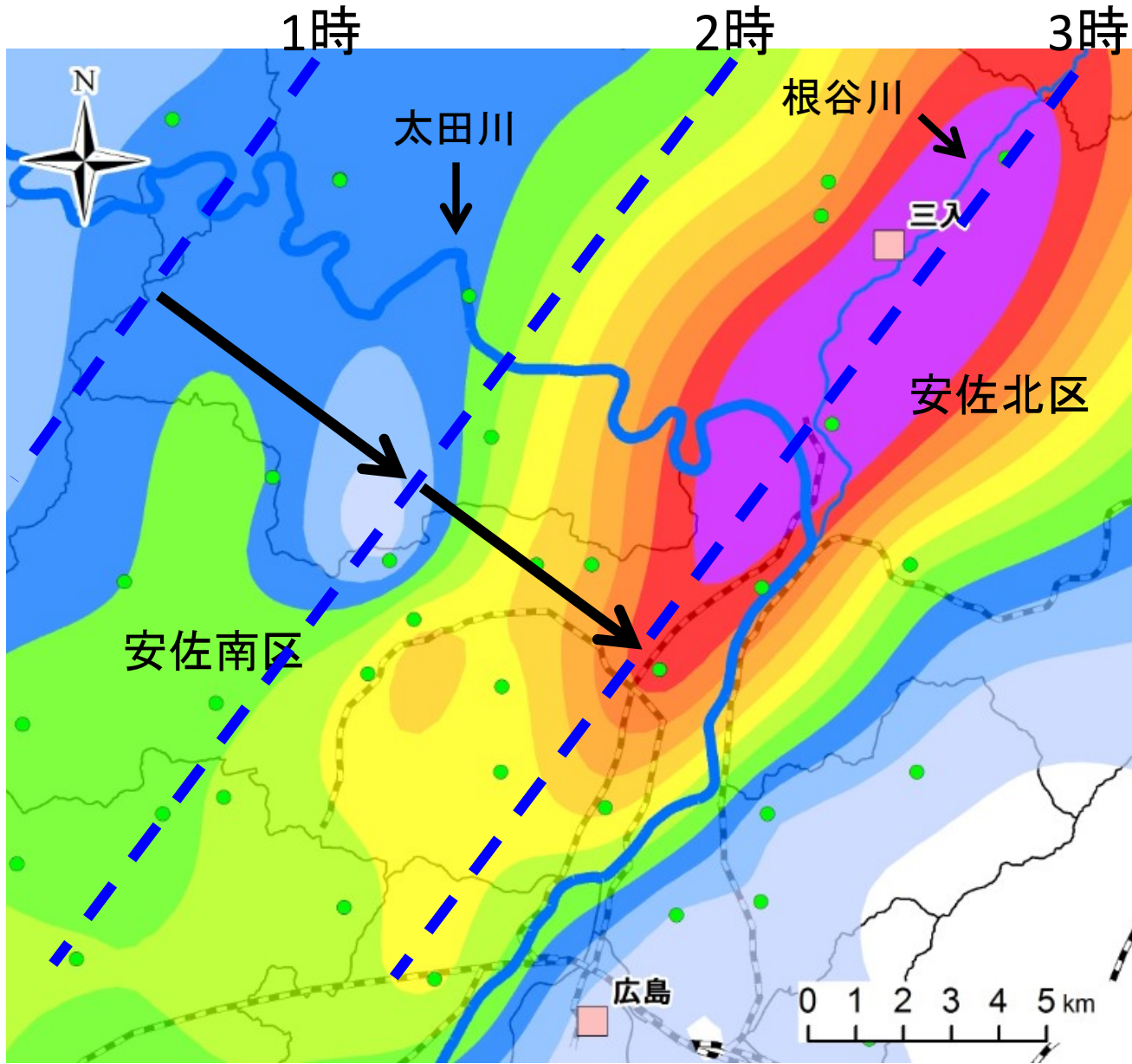
- アメダス
- 自治体等所管の雨量計



1時間降水量(2014年8月20日6時)

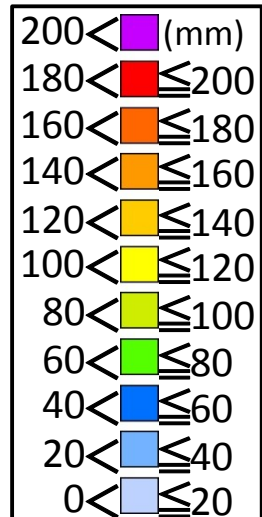


積算降水量(2014年8月20日0時~6時)



アメダス

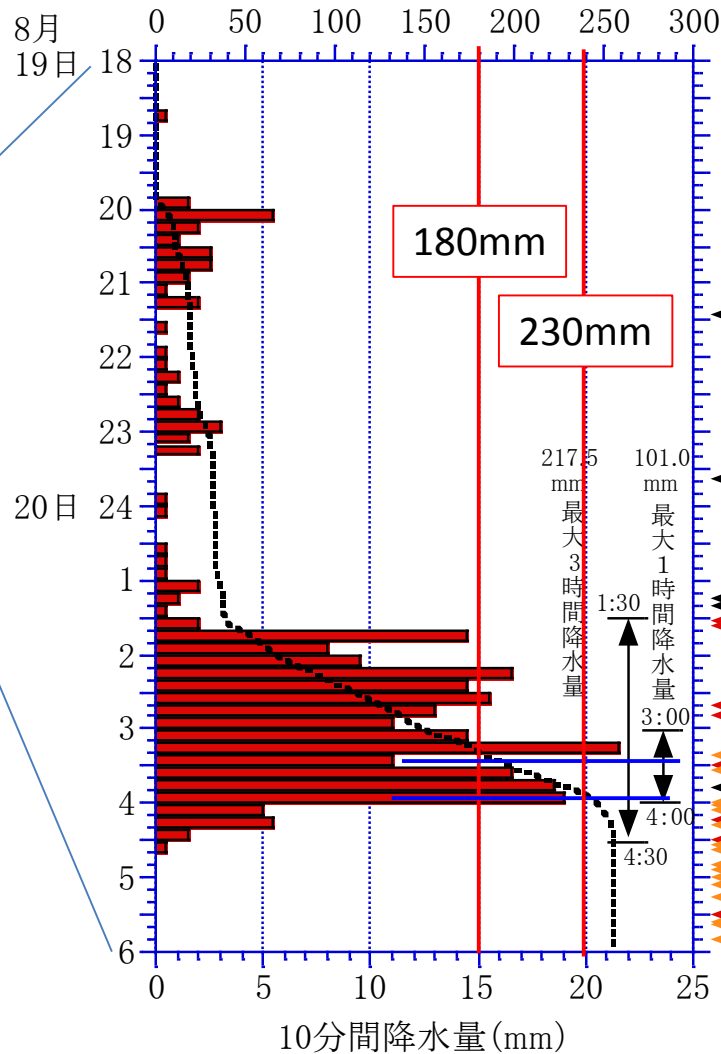
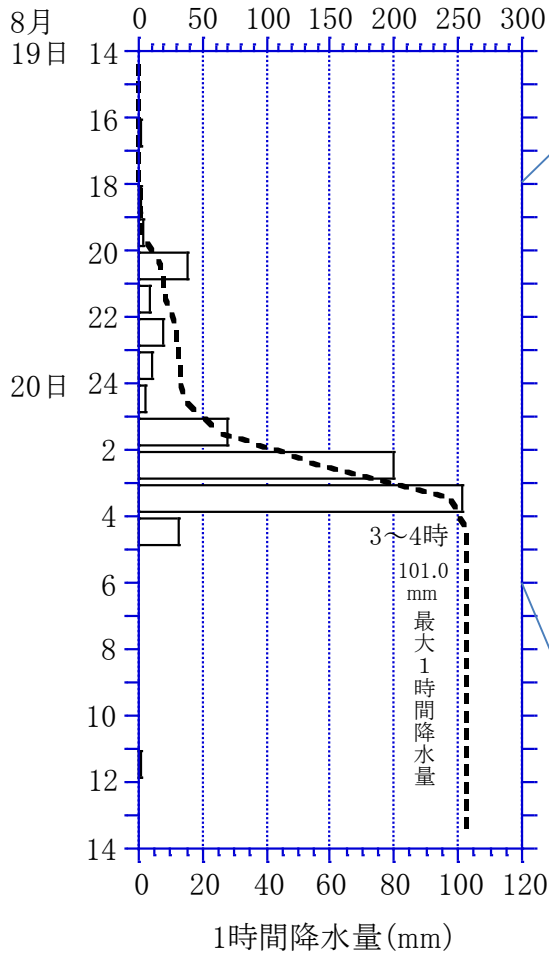
自治体等所管の雨量計



三入アメダス

積算降水量(mm)

積算降水量(mm)



← 21:26 大雨洪水警報(気象台)

← 23:33 洪水警報解除(気象台)

← 1:15 土木災害警戒情報(気象台)

← 1:21 洪水警報発令(気象台)

← 1:32 防災情報メールで土砂災害への注意喚起(市)

← 1:35 災害警戒本部を設置(市)

← 2:41 防災情報メールで大雨への注意喚起(市)

← 2:50 防災無線で注意喚起(市)

← 3:21 山本で生き埋めの通報(気象台)

← 3:30 災害対策本部を設置(市) 大雨情報(安佐北区)

← 3:49 3:30までの1時間120mm記録的短時間

← 4:15 安佐北区可部など5ヶ所に避難勧告

← 4:30 安佐南区八木・梅林・緑井・山本に避難勧告

← 5:30 安佐北区の15ヶ所に避難勧告を拡大

← 市民から消防への電話による通報

1:40から雨量強度が急激に増加(15mm/10分間)

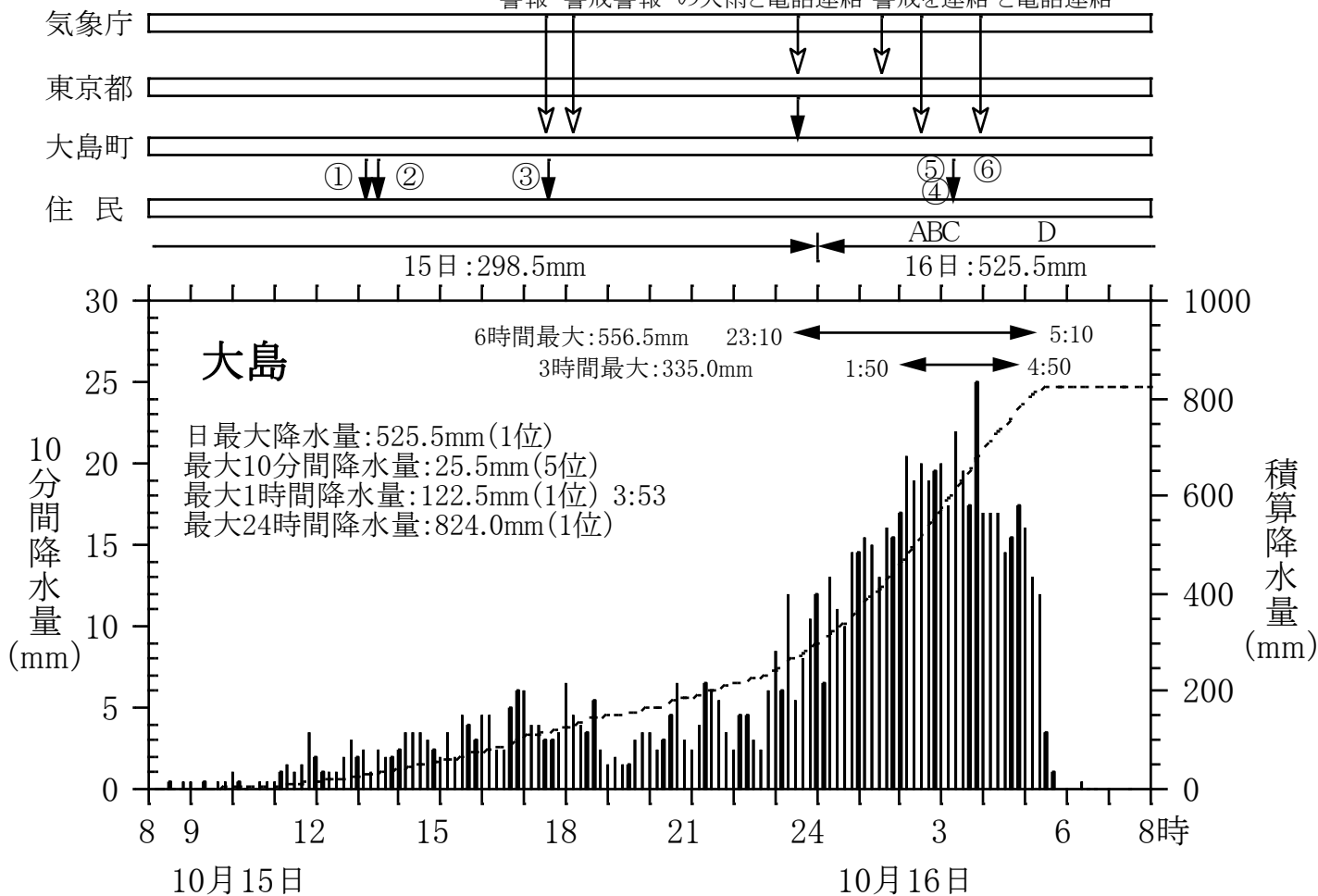
4:00まで平均15mm/10分間が持続(1時間100mm弱)

わずか「**2時間半**」の短時間豪雨

2013年
平成25年

伊豆大島土石流災害

- 大島町 防災無線
 ①外出を控えるよう注意発起
 ②港の岸壁に近づかないよう注意発起
 ③高波に計画するよう注意発起
 ④大金沢が氾濫
- 住民から町役場への情報提供
 A: 北部でがけ崩れの情報
 B: 元町神達地区で住宅が全半壊との情報
 C: ホテル椿園の1階が土砂に埋まる
 D: 住宅が流されているとの情報
- 2:32 1時間101mm
 記録的短時間大雨情報
- ⑤第1次非常配置態勢
 ⑥第2次非常配置態勢
- 17:38 大雨洪水警報
 18:05 土砂災害警戒警報
 23:30 特別警戒レベルの大雨と電話連絡
 1:35 再度警戒を連絡
 3:55 24時間降水量700mmに達したと電話連絡



大島(特別地域気象観測所)における10分間降水量および積算降水量の推移と気象庁の警報・呼びかけ等の時系列情報

避難指示のタイミング

2012年
平成24年

最大1時間 108.0mm 4時53分 | 5時53分
 最大3時間 288.5mm 2時 | 5時
 最大6時間 459.5mm 1時 | 7時

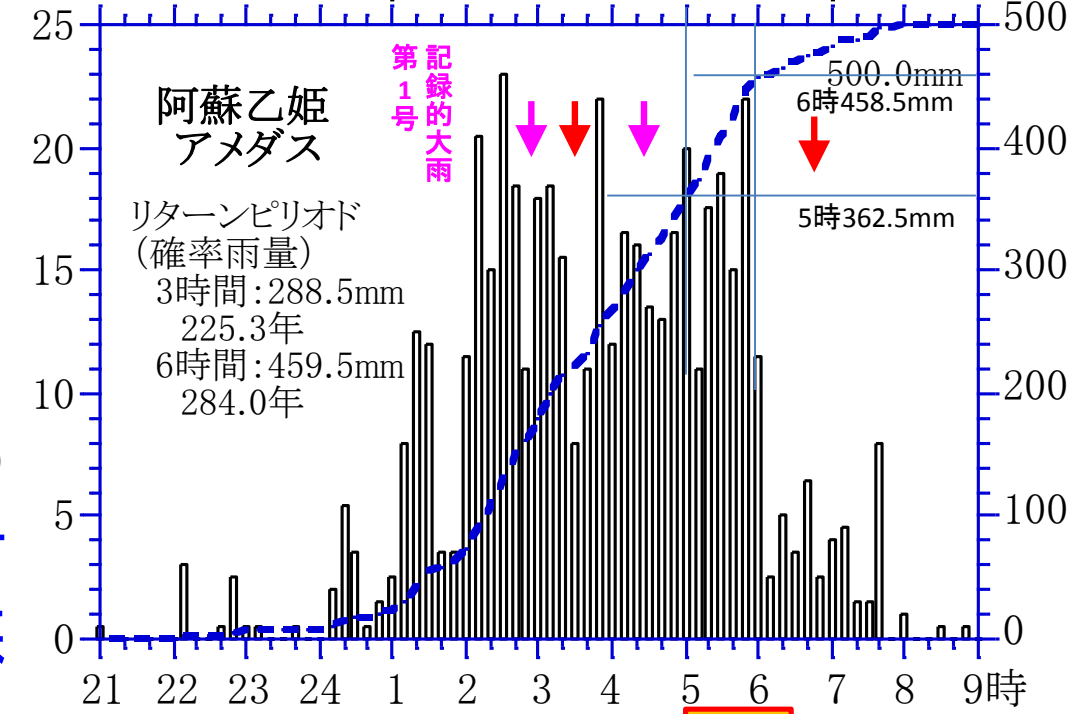
10分間降水量 (mm)

阿蘇土砂・洪水災害

阿蘇乙姫
アメダス

リターンヒリオド
(確率雨量)
3時間:288.5mm
225.3年
6時間:459.5mm
284.0年

記録的大雨
第1号



積算降水量 (mm)

- 08:00 大雨洪水警報
- 09:00 防災無線
- 14:00 安心メール警報伝達
- 15:00 職員参集
- 18:01 お知らせ
- 20:20 端末警戒伝達
- 04:20 土砂災害警戒情報
- 05:00 災害対策本部設置
- 05:10 避難勧告避難指示
- 05:14 避難所開設指示
- 05:19 土石流発生
- 05:19 自衛隊災害派遣要請

7月11日 7月12日

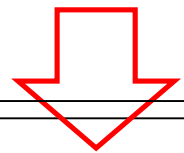
避難指示のタイミング

気象情報 熊本地方気象台

大雨と落雷及び突風に関する熊本県気象観測情報

- 11日06時06分 第1号
 - ・1時間70mm、24時間250mm
- 11日16時25分 第2号
 - ・1時間70mm、24時間250mm
- 11日21時55分 第3号
 - ・1時間70mm

予報



12日02時55分 熊本県記録的短時間大雨情報 第1号

・2時30分熊本県で記録的短時間大雨
阿蘇市付近で約120mm、菊池市附近で約110mm

12日03時28分 大雨と落雷及び突風に関する熊本県気象観測情報 第4号

・2時30分熊本県で記録的短時間大雨
解析雨量で1時間に
阿蘇市付近で約120mm
菊池市附近で約110mm
土砂災害、浸水害、河川の増水や
はん濫に嚴重に警戒

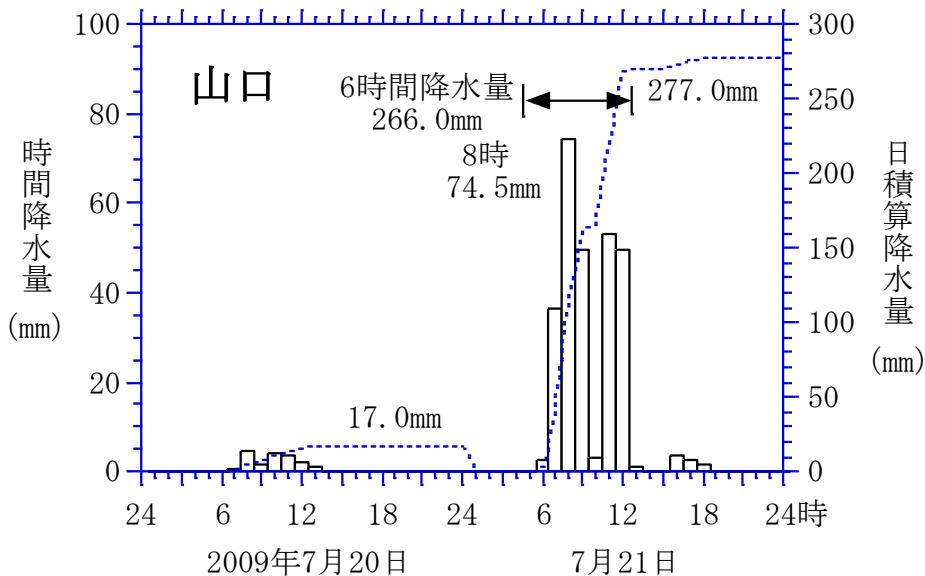
12日04時23分 第4号 熊本県記録的短時間大雨情報 第4号

・4時熊本県で記録的大雨 菊池市附近で約110mm、阿蘇市付近で約120mm、
合志市付近で約110mm

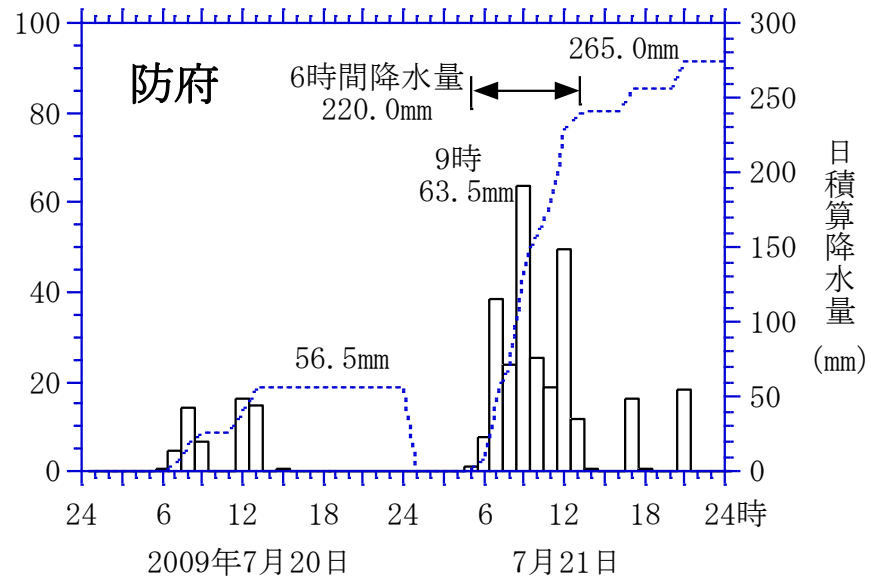
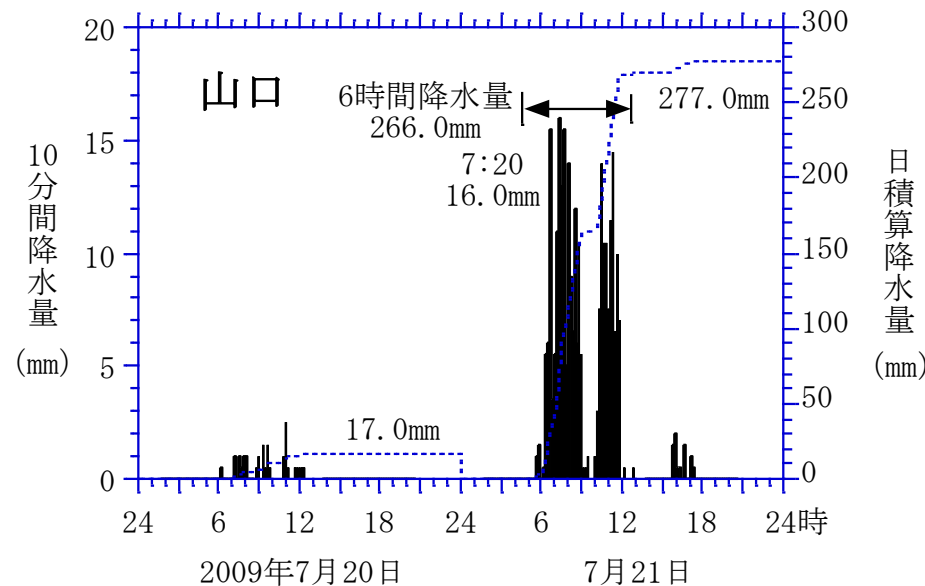
12日06時45分 第6号 記録的な大雨に関する熊本県気象情報 第6号

・鹿本菊池、阿蘇地方を中心に、これまでに記録したことのないような大雨になっています。

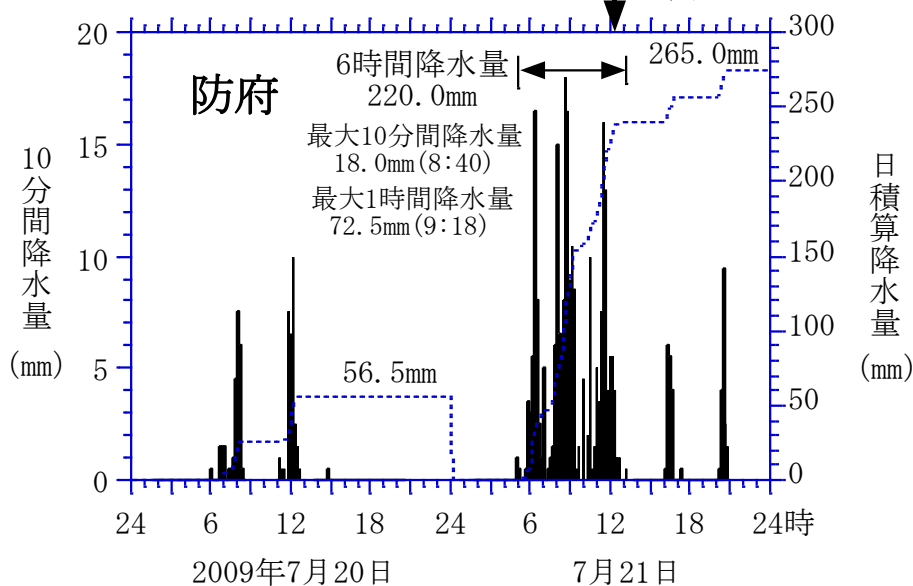
2009年7月21日の防府・山口豪雨



再現確率: 602年 (6時間積算値)



再現確率: 246年 (6時間積算値) ライフケア高砂 災害発生



積算降水量が200mmを超えた3回目の降水ピーク時に、土砂災害が発生している

2013年7月山口県阿東・須佐豪雨

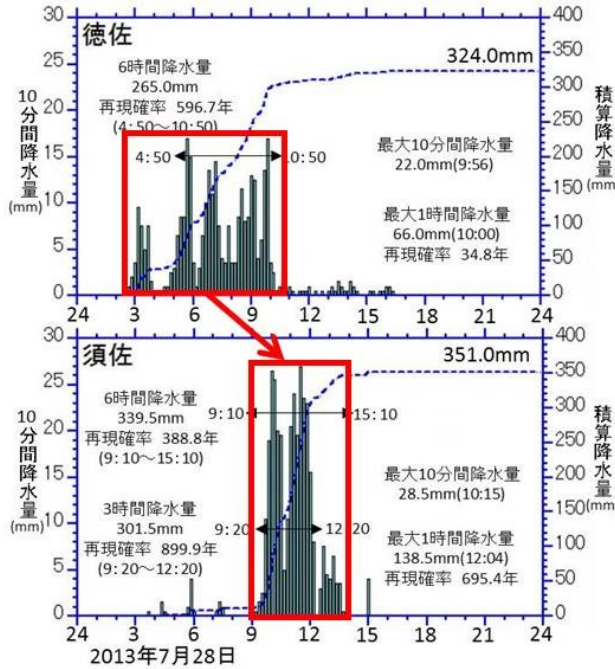


図 徳佐・須佐アメダスの位置図と10分間降水量

再現確率(リターンピリオド)

※1976年から2000年の約25年間における水文統計解析による(独立行政法人土木研究所)

徳佐

最大1時間降水量
 再現確率: **34.8年**
 6時間降水量
 再現確率: **596.7年**

須佐

最大1時間降水量
 再現確率: **695.4年**
 3時間降水量
 再現確率: **899.9年**

降り始めに大きな違いが見られた



徳佐から須佐へと豪雨域の移動が見られ、異なる複数の降水セルが影響した

徳佐では3時から11時の約8時間の豪雨

→10分間降水量の平均は約7mm



須佐では9時から12時の約3時間という短時間豪雨

→10分間降水量の平均は約16mm

最大1時間降水量では大きな差異が生じた



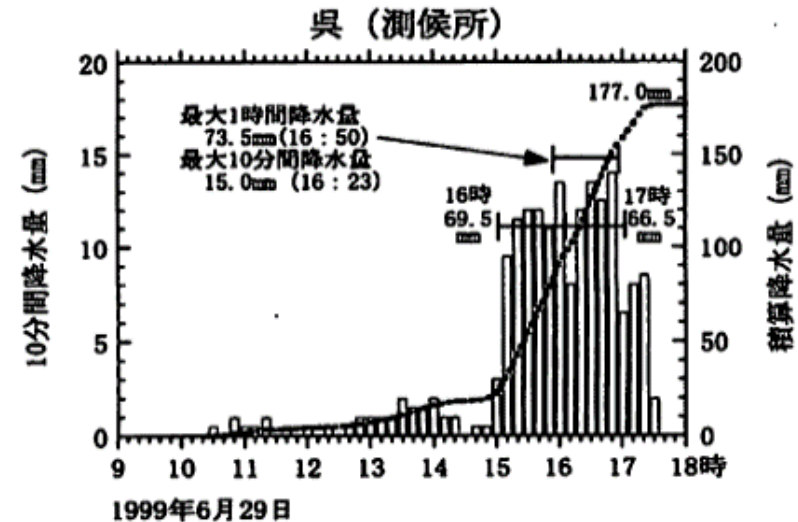
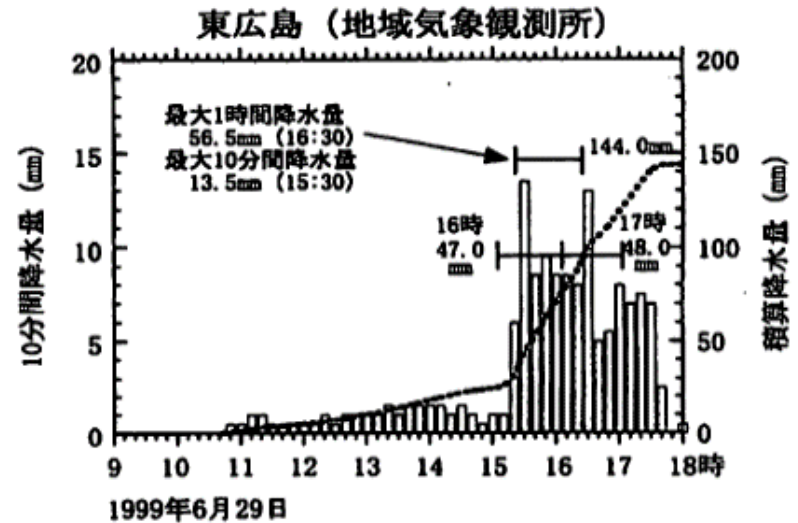
降水時間の違いはあるが、豪雨時にもたらされた総雨量は同程度であった

➡ 今回の豪雨が非常に稀有な降水現象であったことがわかる

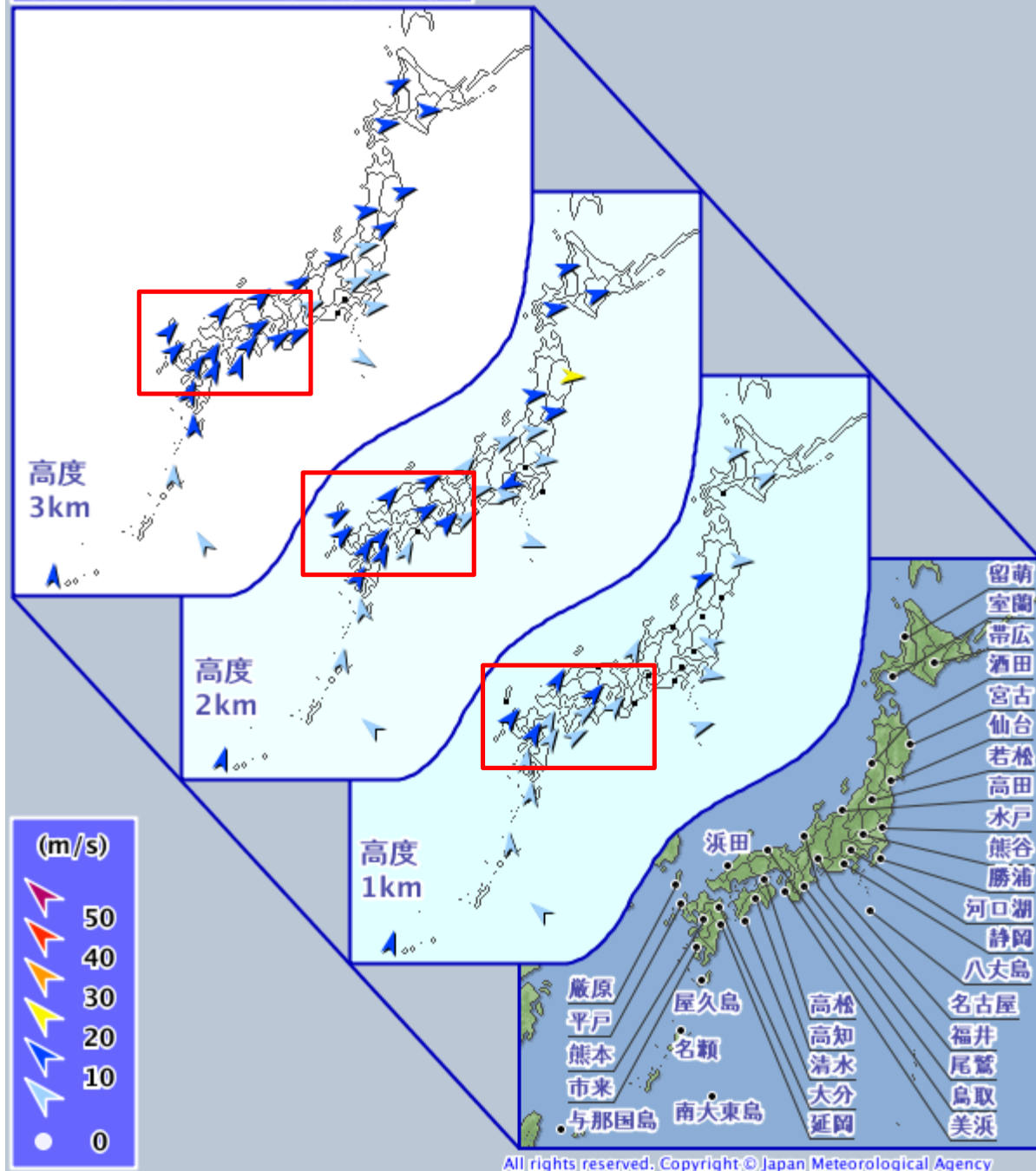
1999年6月29日 呉豪雨



急傾斜地区における斜面崩壊
(広島県呉市吉浦東町、1999年7月1日撮影)



呉: 2時間半で約180mm



ウィンドプロファイルによる上空風の観測

西日本では、
南西風が卓越

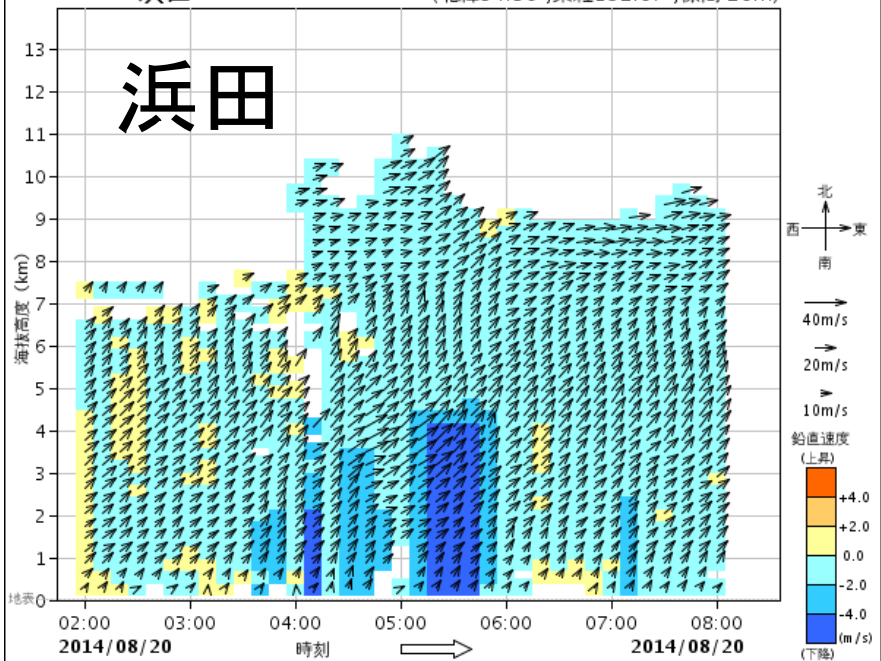


湿った大気が
豊後水道を通り、
広島湾に
供給される

浜田

(北緯34.90°,東経132.07°,標高 20m)

浜田



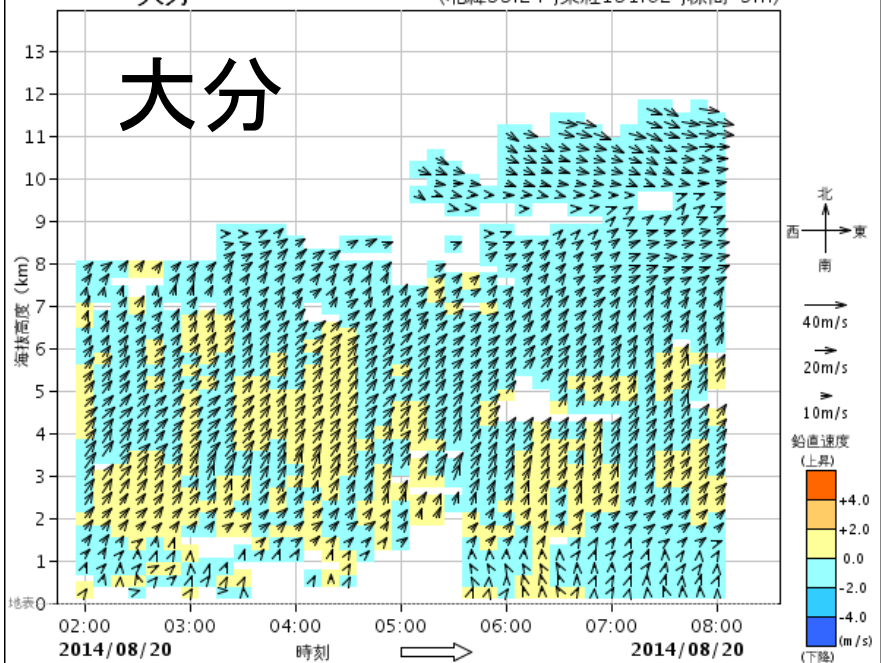
平成26年8月20日 浜田

時刻	1km		2km		3km		4km		5km		6km
時	風向	風速 (m/s)	風向	風速 (m/s)	風向	風速 (m/s)	風向	風速 (m/s)	風向	風速 (m/s)	風向
1	南西	14	南西	15	南西	15	南西	17	南西	15	南西
2	南西	14	南西	14	南西	16	南西	17	南西	15	南西
3	南西	13	南西	13	南西	16	南西	18	南西	17	南西
4	南南西	13	南西	14	南西	17	南西	17	南西	19	-
5	-	-	西南西	14	南西	19	南西	20	南西	18	南西
6	南西	10	南西	17	南西	18	南西	19	南西	19	南西
7	南西	12	南西	14	南西	17	南西	20	南西	20	南西
8	南南西	14	南西	15	南西	15	南西	20	南西	19	南西
9	-	-	南西	15	西南西	14	南西	21	南西	17	南西
10	南南西	11	南西	19	南西	20	南西	17	南南西	14	南西
11	南西	13	南西	15	南西	20	南西	18	南西	19	西南西
12	-	-	南西	14	南西	20	南西	22	南西	19	南西
13	南南西	9	南西	14	南西	19	南西	20	南西	20	南西
14	-	-	南西	14	-	-	南西	20	南西	23	南西
15	南	7	南西	13	南西	14	南西	20	南西	23	南西

大分

(北緯33.24°,東経131.62°,標高 5m)

大分

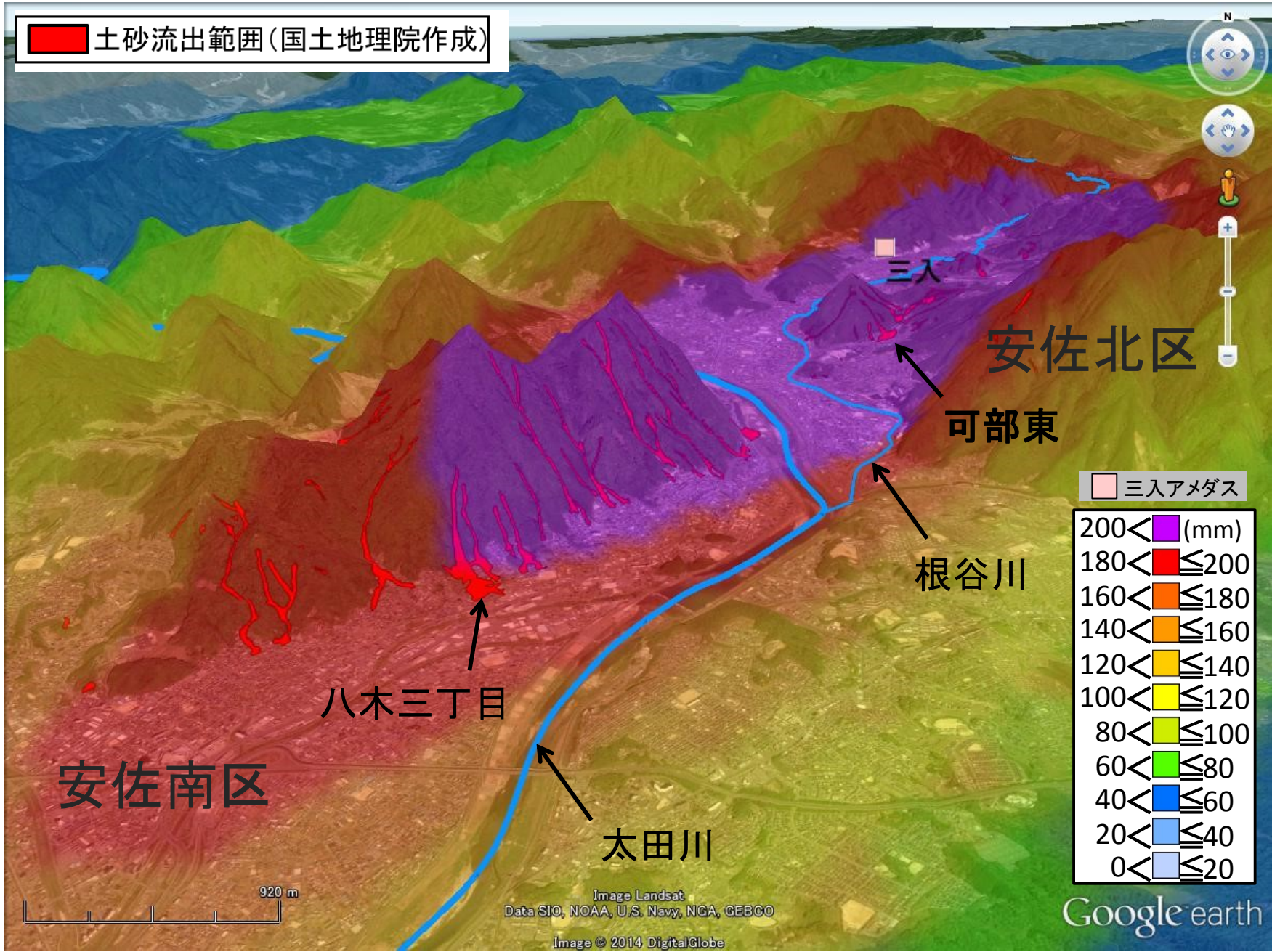


平成26年8月20日 大分

時刻	1km		2km		3km		4km		5km		6km
時	風向	風速 (m/s)	風向	風速 (m/s)	風向	風速 (m/s)	風向	風速 (m/s)	風向	風速 (m/s)	風向
1	南	3	南西	12	南南西	15	南西	15	南南西	14	南南西
2	南南西	4	南西	13	南南西	16	南西	16	南西	14	南南西
3	南	3	南西	12	南南西	15	南西	16	南西	15	南西
4	南南西	5	南西	12	南南西	15	南西	15	南西	15	南西
5	-	-	南西	9	南西	16	南南西	14	南西	16	南西
6	南南東	3	南南西	9	南南西	14	南西	15	南西	14	南西
7	南	5	南西	9	南南西	14	南南西	15	南西	12	南西
8	南	3	南西	10	南西	13	南西	15	南南西	14	南南西
9	南南東	3	南西	10	南西	12	南西	15	南南西	16	南西
10	南	5	南西	10	南西	10	南西	15	南西	18	南南西
11	南	8	南南西	10	南南西	11	南西	14	南西	16	南西

ウィンドプロファイラによる上空風の観測

土砂流出範囲(国土地理院作成)



豪雨域200mm(20日0時~6時)と土石流の範囲が一致

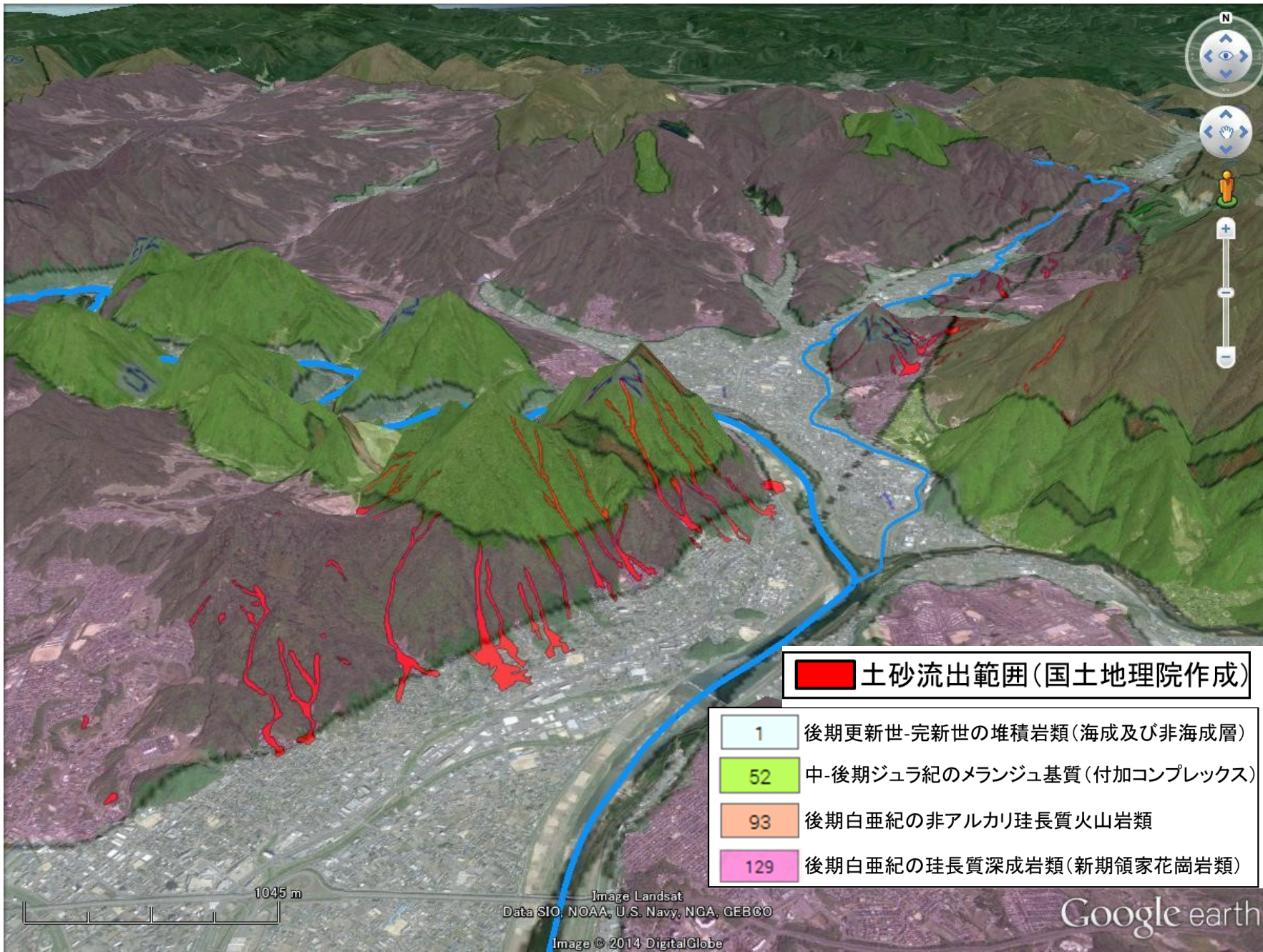


表1 人的・物的被害の状況(広島県災害対策本部、平成26年9月19日16時00分現在)

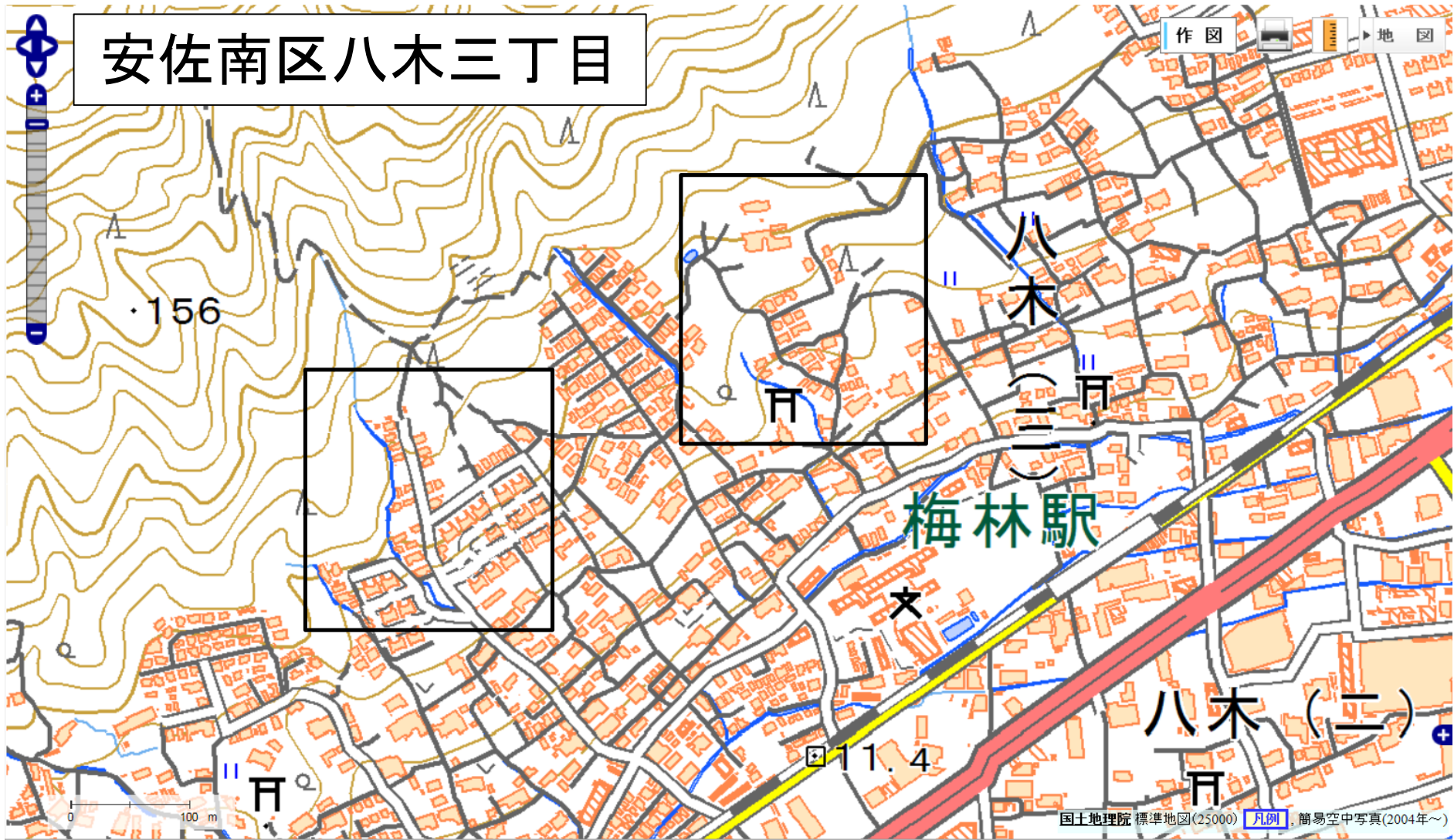
	人的被害			物的被害(住家被害)					(非住家被害)
	死者 (人)	負傷者 重傷(人) 軽傷(人)		全壊 (棟)	半壊 (棟)	一部損壊 (棟)	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)	その他 (棟)
広島市 安佐北区	6	3	6	32	38	72	330	758	1
(内訳) 大林三丁目		1					太田川支流の根谷川の氾濫		
三入四丁目			1						
三入南二丁目	1								
可部町大字桐原	1		1						
可部東二丁目	1	1							
可部東六丁目	3	1	4						
広島市 安佐南区	68	5	30	100	84	92	968	2,035	1
(内訳) 八木三丁目	41	1	12				土石流による土砂と水の流入		
四丁目	10		5						
八丁目	1		2						
緑井七丁目	9	1	4						
八丁目	5	3	7						
山本八丁目	2								
広島市 西区				1		7	2	18	3
広島市 中区						1			
広島市 安芸区						1			
安芸高田市							1	14	
三次市						1			
福山市								3	
合計	74	8	36	133	122	174	1,301	2,828	5

注1) 人的・物的被害の内訳は、広島県災害対策本部資料を参照
注2) その他は、消防庁内閣府、広島県、広島市の資料を参照

安佐南区八木三丁目



安佐南区八木三丁目



1947～1948年(昭22～23年)

八木用水から山麓（扇状地）に農家が点在



八木用水と古川の範囲は水田（遊水地）

1962/05/26(昭37年)

土石流被害を受けた住宅地は森林の状態
で未開発

緑丘団地は
建設済み

土石流被害を受けた住宅地
は水田等で未開発

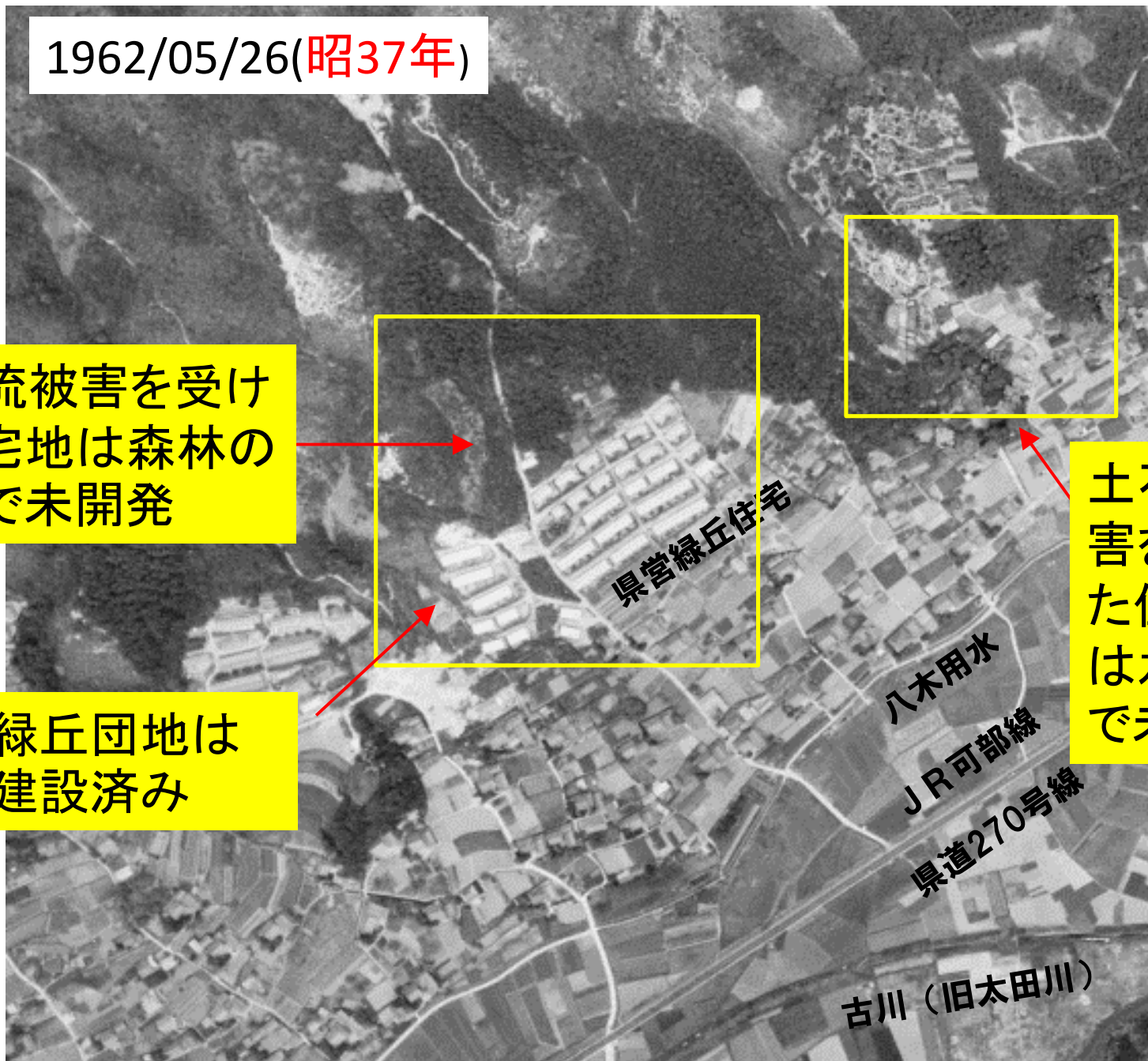
県営緑丘住宅

八木用水

JR可部線

県道270号線

古川(旧太田川)



1969/05/21(昭44年)

森林を切り開いて
住宅地開発を準備



県営緑丘住宅

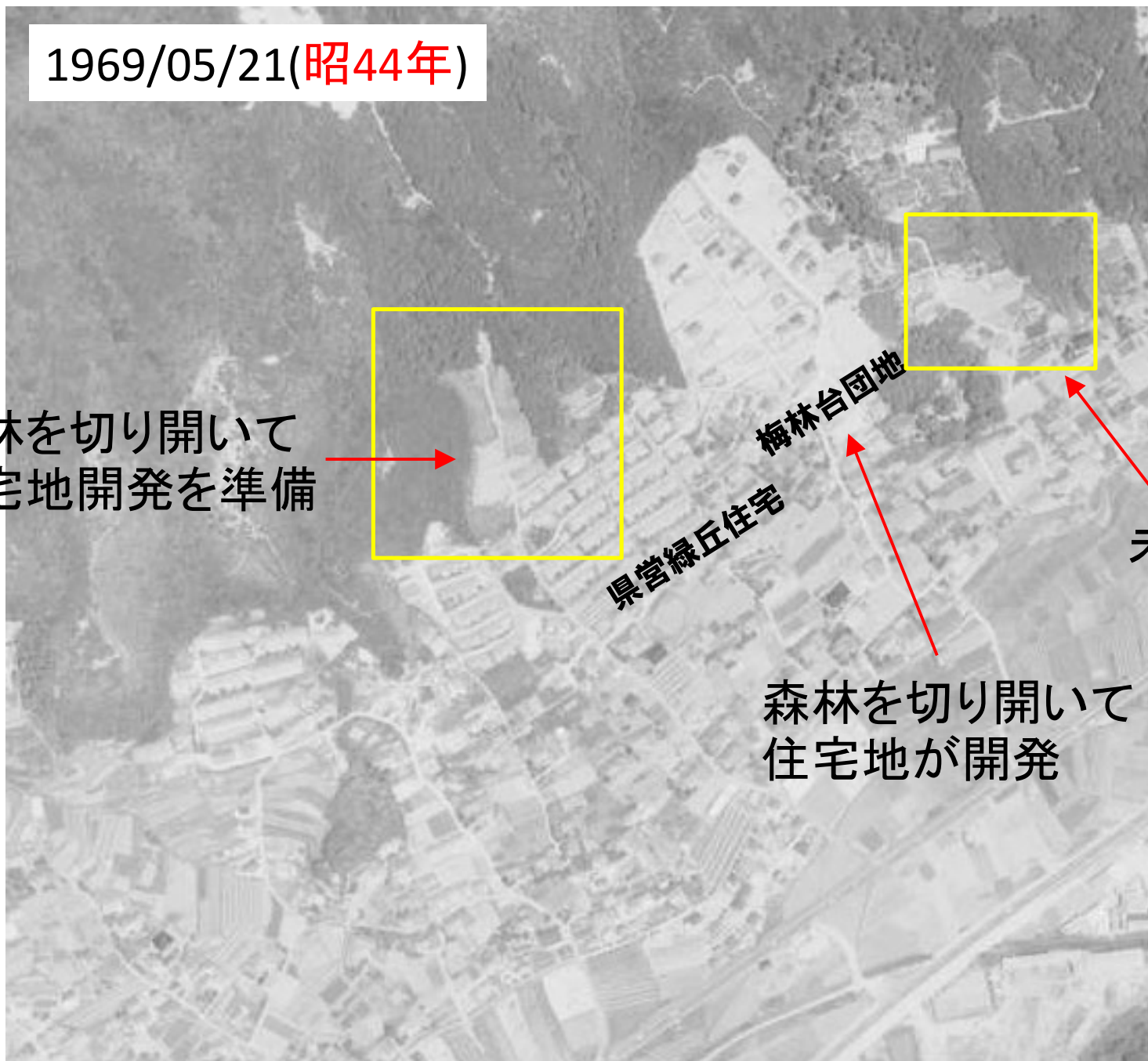
梅林台団地



未開発



森林を切り開いて
住宅地が開発

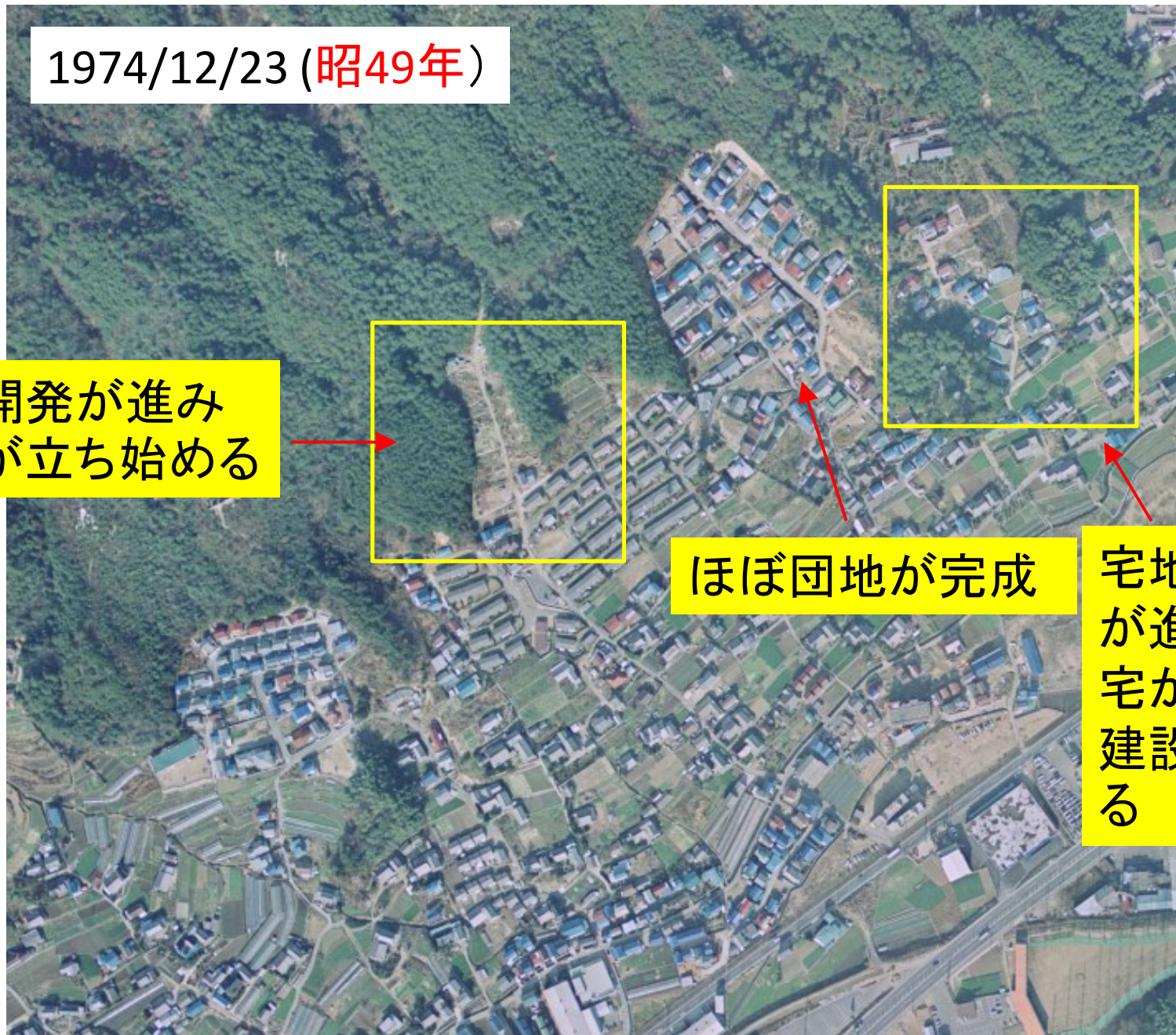


1974/12/23 (昭49年)

宅地開発が進み
住宅が立ち始める

ほぼ団地が完成

宅地開発
が進み住
宅がほぼ
建設され
る



1988/10/08 (昭63年)

ほぼ団地が完成

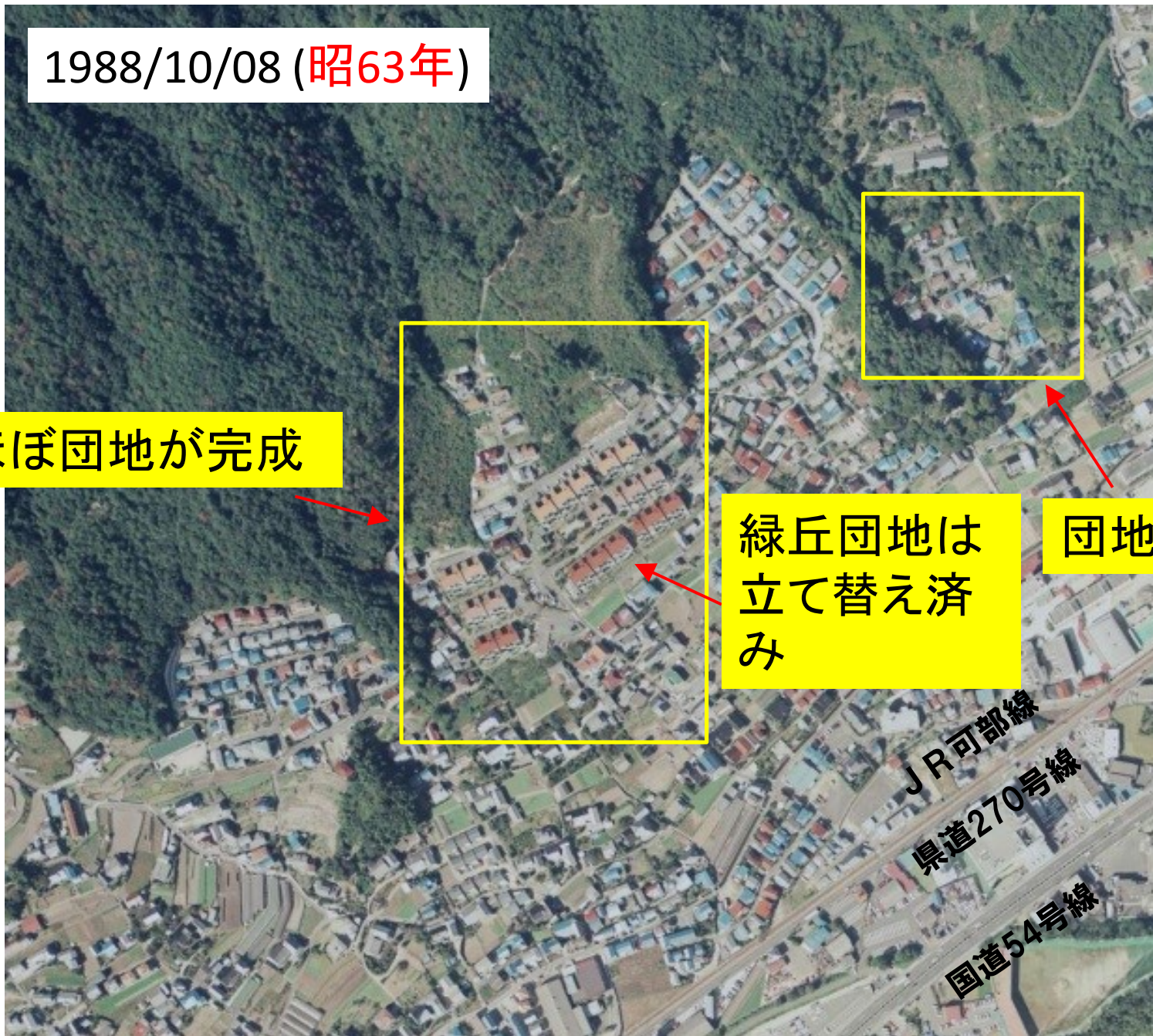
緑丘団地は
立て替え済
み

団地が完成

JR可部線

県道270号線

国道54号線



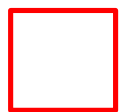
2014/08/28(平成26年)



2009/04/30



被害建物



全壊家屋



半壊家屋

2014/08/20



八木三丁目

- ・死者: 41名
- ・重傷: 1名、軽傷: 12名



写真1



写真2



写真3





広島市(梅林地区)
洪水ハザードマップ

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1285765164739/activesqr/common/other/4ca33b0c025.pdf>

太田川

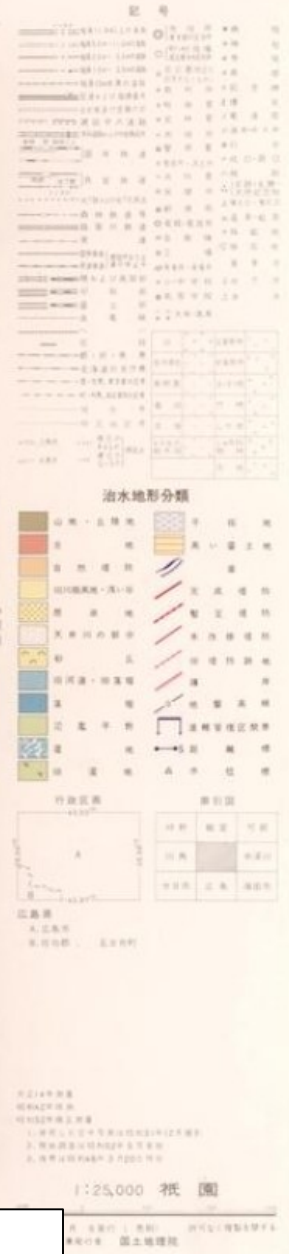


土石流により
つくられた「扇状地」



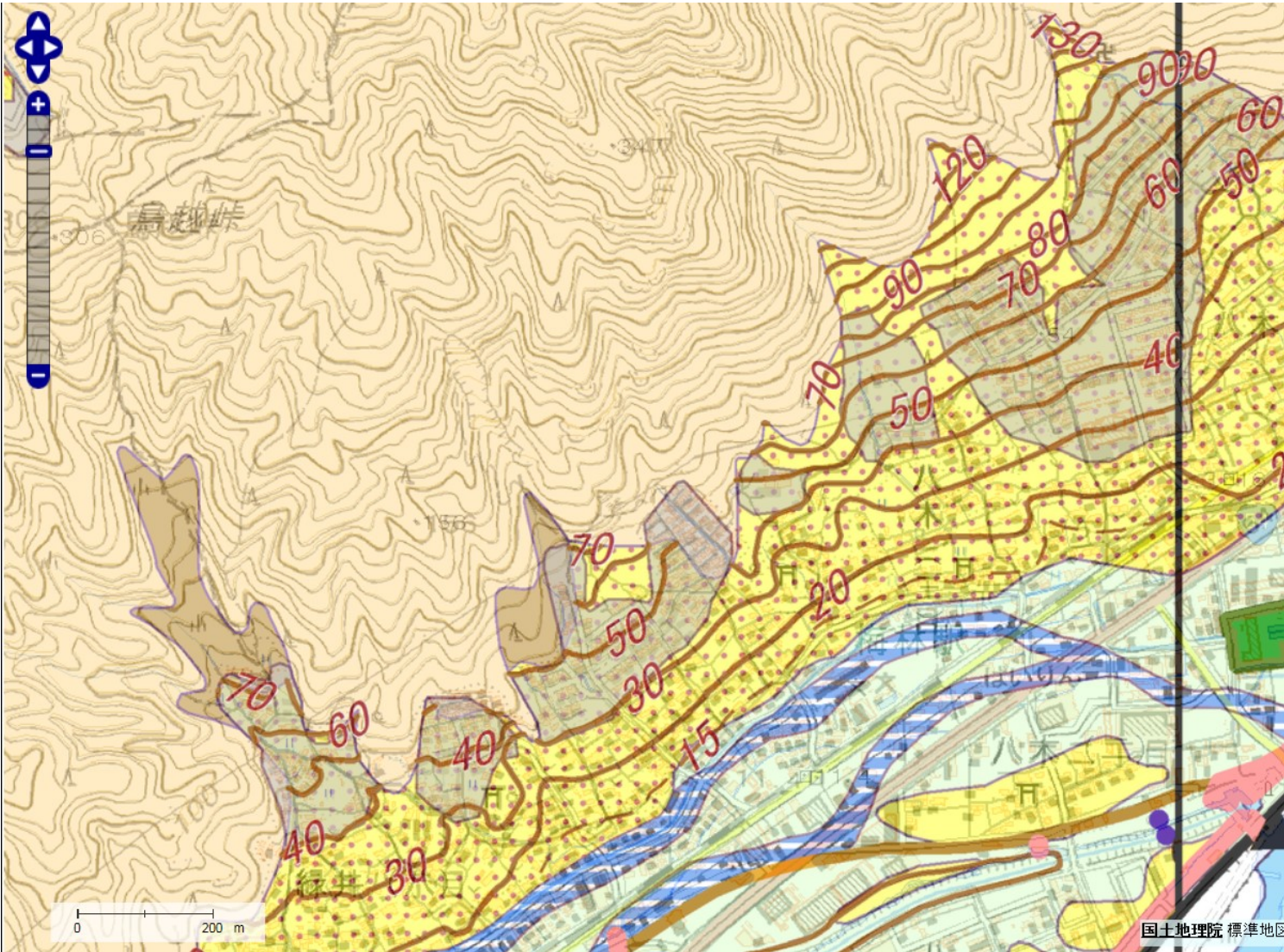
太田川と山地に挟まれた
低平地は「氾濫平野」で、
浸水想定区域に指定

山際や溪流沿いは「土石流危険溪流」や「急傾斜地崩壊危険箇所」
太田川沿いの低平地は「浸水想定区域」⇒ **どこに住めば安全か？**



計画機関 中国地方建設局

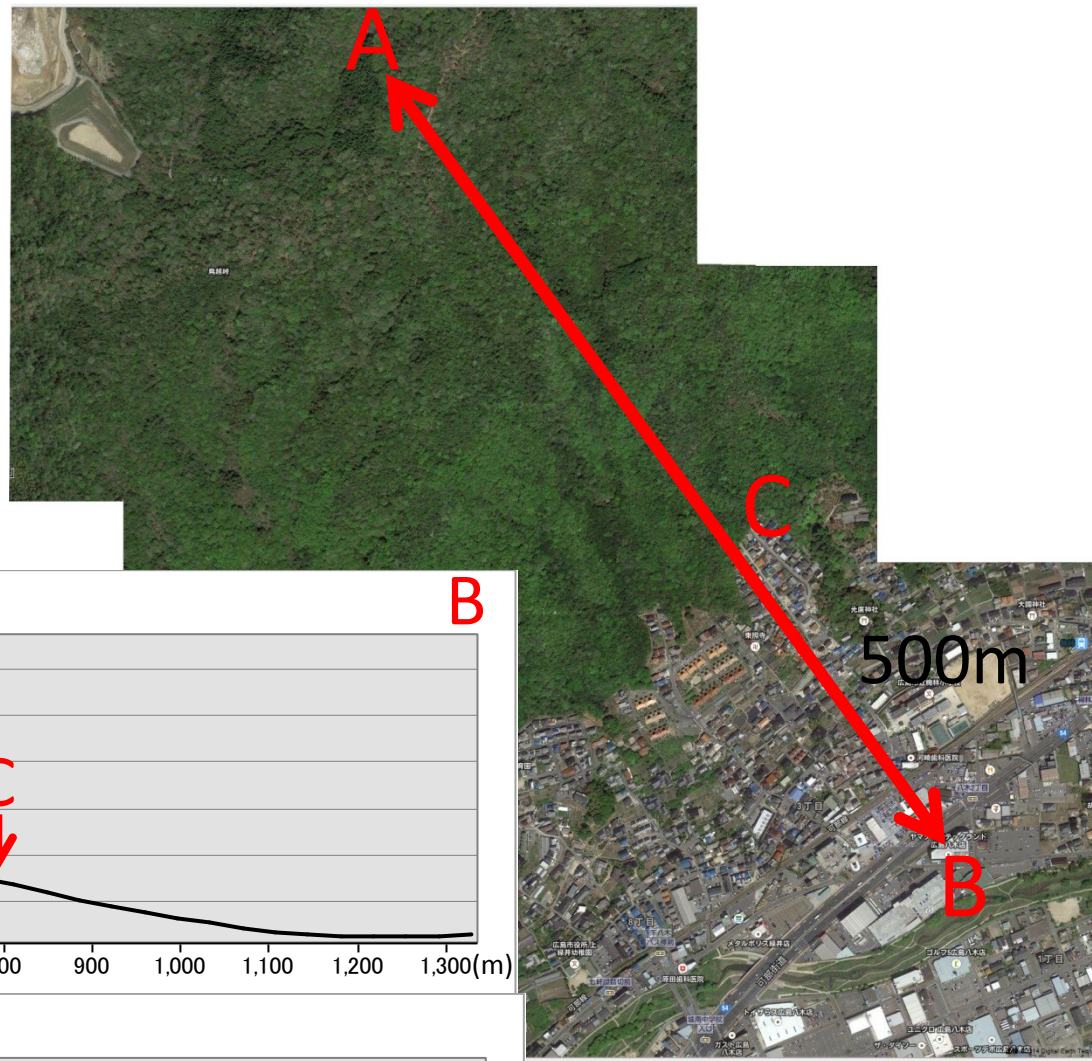
国土地理院地図(電子国土Web)



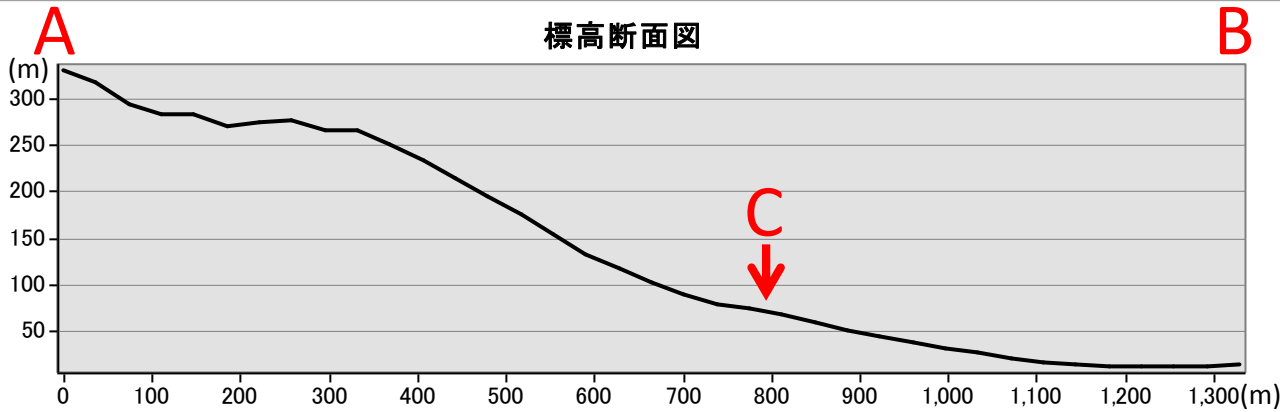
大分類	中分類	小分類	細分類	記号	
山地					
台地・段丘		段丘面			
		崖(段丘崖)			
		浅い谷			
低地	山麓堆積地形	扇状地			
		山麓堆積地形			
	氾濫平野	[扇状地] 氾濫平野	微高地(自然堤防)		
			旧河道	旧河道(明瞭)	
			旧河道(不明瞭)		
		落堀			
	氾濫平野	後背湿地			
	砂州・砂丘	砂州・砂丘			
	人工 改変地形	人工改変地形	干拓地		
			盛土地・埋立地		
切土地					
連続盛土					
その他 の地形等	その他の地形等	天井川の区間			
		現河道・水面			
	旧流路	S.30年代後半～S.40年代前半			
		S.20年代			
		T.末期～S.初期			
	M.末期～T.初期				
	M.中期				
	地盤高線	主曲線			
	補助曲線				
	河川 管理施設等	旧堤防	旧堤防	S.30年代後半～S.40年代前半	
S.20年代					
T.末期～S.初期					
M.末期～T.初期					
河川管理施設		堤防	完成堤防		
			暫定堤防		
			暫々定堤防		
護岸					
河川 工作物		河川工作物	水位観測所		
			流量観測所		
	水質観測所				
	雨量観測所				
	樋門・樋管				
	水門・閘門				
揚排水機場					
事務所・出張所	事務所・出張所	事務所			
		出張所			
距離標					
測線					

安佐南区 八木三丁目

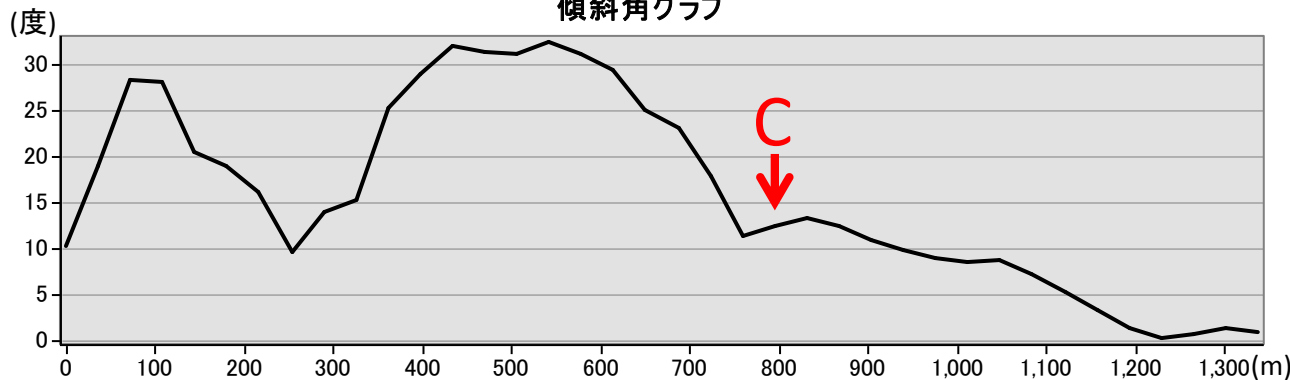
標高断面
傾斜角



標高断面図



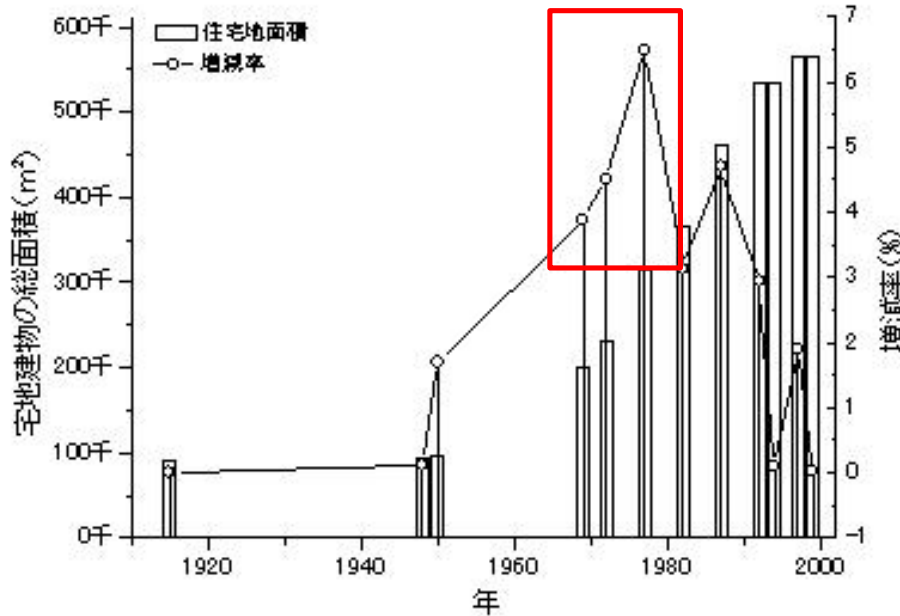
傾斜角グラフ



安佐南区の事例

土砂災害危険箇所内における宅地建物の総面積と増加率

1960年後半から1980年初めにかけて増加率が急増
⇒災害が発生しやすい場所への宅地開発

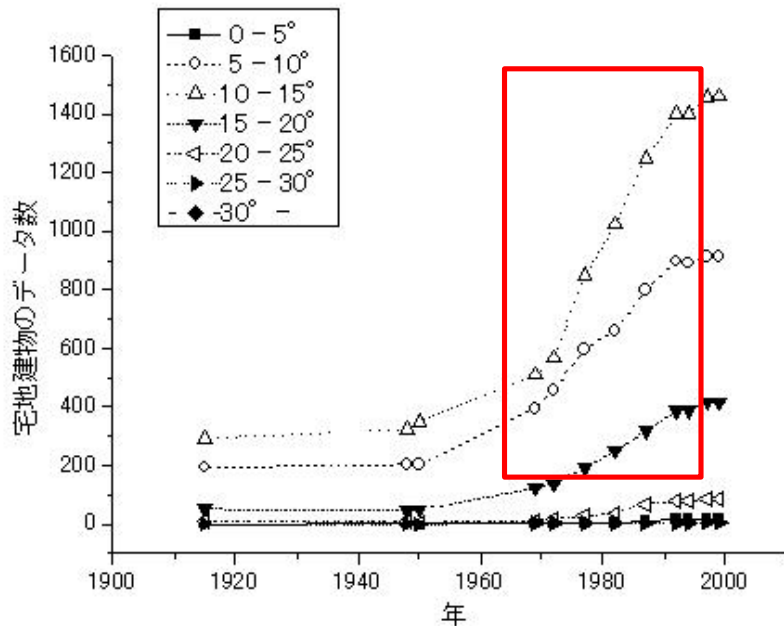


傾斜角別宅地建物のデータ数

1970年後半から勾配が急な宅地建物が増加
⇒ 災害が発生しやすい場所への宅地増

高度成長期における一戸建て住宅の増加は、土砂災害危険箇所内で急速に進む

⇒ 土砂災害に遭遇するリスクが増加



可部地区



可部東
六丁目

可部東
五丁目

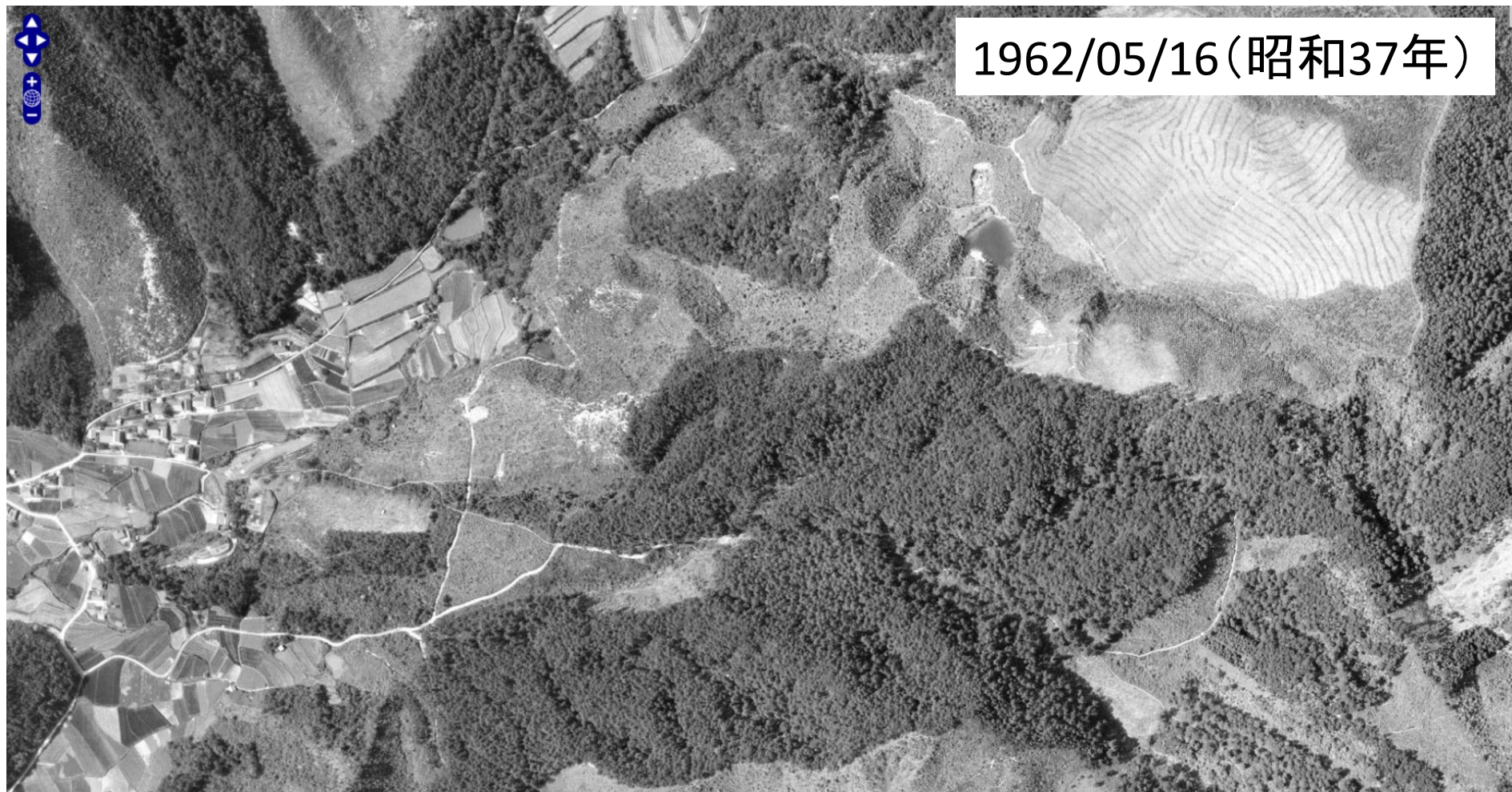
可部高校

根谷川


平成26年8月20日
(14:30~15:00)
国土地理院撮影

可部東六丁目

1962/05/16(昭和37年)

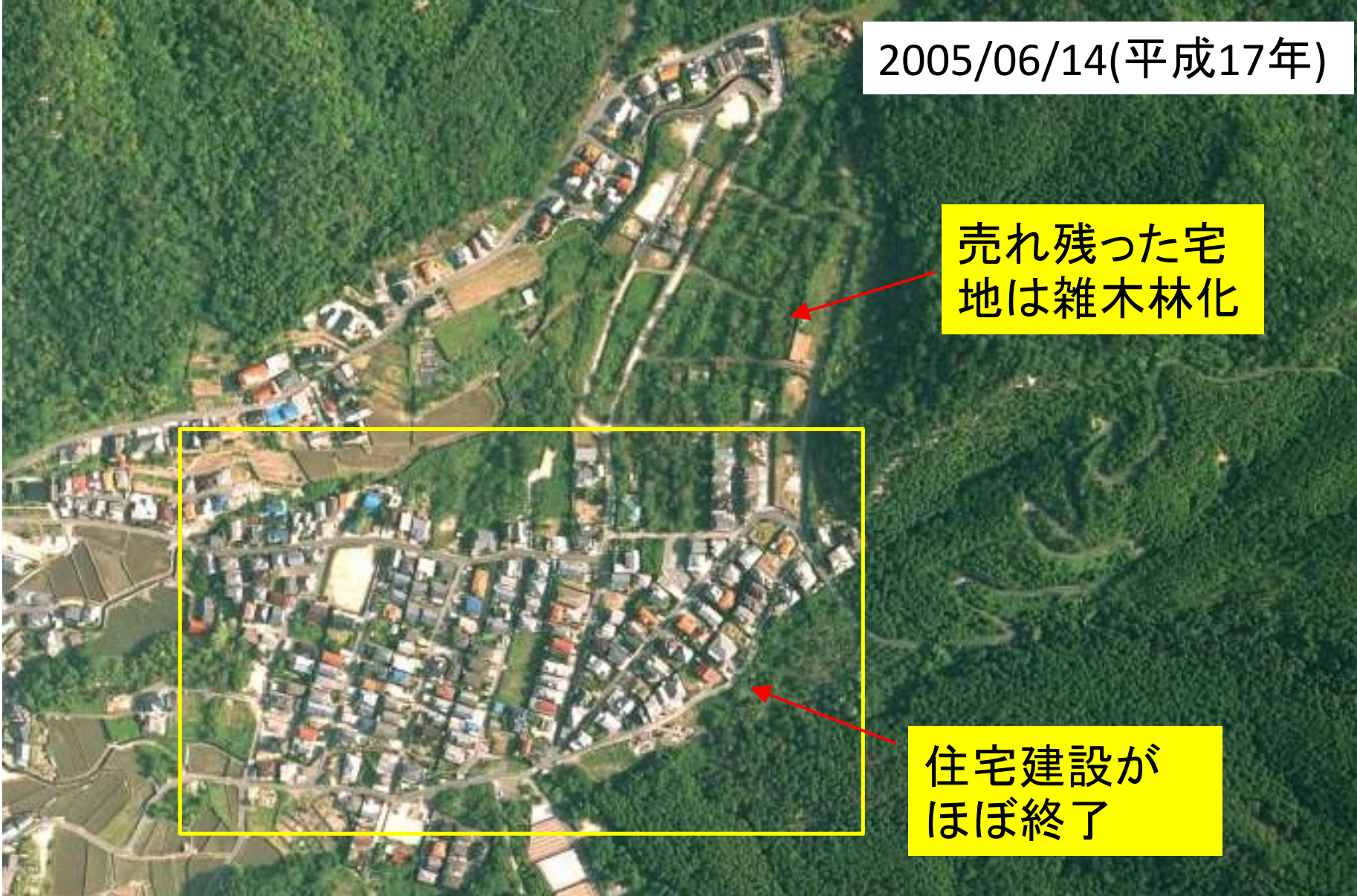


「里山」環境が維持



1975/03/04 (昭和50年)

大規模な宅地開発(新建団地)が進む
住宅が立ち始める



2005/06/14(平成17年)

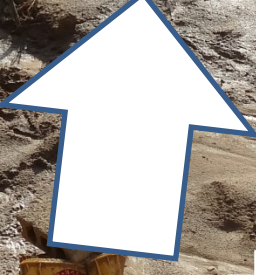
売れ残った宅
地は雑木林化

住宅建設が
ほぼ終了

2014/08/28



住宅の流下



土石流の方向









11.4 根谷川の改修状況

国土交通省 太田川河川工事事務所

11.支川の改修

- 可部は広島市北部の中心地であり、背後には密集市街地控える
- 三川(太田川、根谷川、三篠川)が合流する可部地区は水が集まりやすく、たびたび被災を受ける
- 本川だけでなく、支川根谷川や三篠川も未改修区域が残り、早期に改修することが必要



昭和47年7月豪雨 可部町上原付近の氾濫状況

S47.7災害の状況



根谷川はん濫発生情報【第2号】
情報の確認時間2014年8月20日4時20分
20日04:20、広島県の根谷川にはん濫発生情報(第2号)が発表されました。(太田川河川事務所・広島地方気象台共同発表)
周辺流域では、家屋への浸水、道路の冠水などのおそれがあります。自治体から発表される避難情報などに十分注意してください。
根谷川では、可部3丁目(上市井堰右岸)(右岸)付近よりはん濫しました。(レベル5)



高松橋付近のおおよその改修平面形状

まとめ

1. 1:40～3:10(2時間半)の短時間豪雨
2. 北東－南西の楕円状、長さ10km、幅数km
3. 降水域が徐々に東進、真夜中での豪雨
4. 1999年6月29日豪雨(昼間、雨量強度はやや低い、呉市での短時間豪雨と同様)
5. 風化花崗岩地域に短時間豪雨
6. 豪雨域＋花崗岩地域⇒土石流地域と一致
7. 扇状地地形、戦後、とくに高度成長期の宅地開発



[トップ](#) > [会見・報道・お知らせ](#) > [報道発表](#) > [平成26年度の報道発表](#) > 「2014年8月豪雨により広島市で発生した土石流災害の実態解明と防災対策に関する研究」への科学研究費補助金(特別研究促進費)の交付内定について

「2014年8月豪雨により広島市で発生した土石流災害の実態解明と防災対策に関する研究」への科学研究費補助金(特別研究促進費)の交付内定について

平成26年9月10日

文部科学省では、平成26年8月20日に広島市で発生した土石流災害について、山口大学等の研究者に、下記のとおり科学研究費補助金(特別研究促進費)を交付することとし、本日、独立行政法人日本学術振興会より交付内定を行いましたので、お知らせいたします。

研究課題名

2014年8月豪雨により広島市で発生した土石流災害の実態解明と防災対策に関する研究

研究代表者

山本晴彦(やまもと はるひこ) (山口大学農学部 教授)
電話: 083-933-5833
(山口大学農学部 生物資源環境科学科 生物生産科学講座)

研究組織

山口大学、広島大学、広島工業大学、京都大学、山梨大学、東北大学、北見工業大学、九州大学、福岡教育大学、静岡大学、新潟大学、長崎大学、(独立行政法人)防災科学技術研究所の研究者(計29名)

研究経費

30,300千円(科学研究費補助金(特別研究促進費))

研究概要等

別紙のとおり

[研究計画の概要 \(PDF:191KB\)](#)

本研究「2014年8月豪雨により広島市で発生した土石流災害の実態解明と防災対策に関する研究」は、研究代表者、研究分担者22名、および連携研究者6名の計29名を組織し、「①短時間豪雨を発生させたバックビルディング現象の解明(気象グループ)、②土石流源頭部の地形・地質特性および崩壊メカニズムの解明(地形・地質グループ)、③堆積土の力学特性および流動メカニズムの解明(地盤・流動グループ)、④時系列的事象変化に着目した災害情報ならびに避難の実態検証と短期間大雨時における夜間の避難行動のあり方に係る提案(災害予測グループ)、⑤土地開発規制等に関する検討(防災情報グループ)」の5つの課題を設定している。本研究組織の構成員は、土木学会、砂防学会、地盤工学会、日本応用地質学会、日本気象学会、日本自然災害学会、日本災害情報学会などの学会会員が中心で、自然災害研究協議会の中国地区部会(2014年4月設立)が中核となり、学会間・文理研究者の連携・融合を図りながら、研究調査を展開する。

研究組織
(研究代表者)

氏名	所属・職名	(専門分野)	役割分担
山本晴彦	山口大学・農学部・教授	気象防災学	研究総括、豪雨発生メカニズムの解明

(研究分担者及び連携研究者)

氏名	所属・職名	(専門分野)	役割分担
(研究分担者)			
土田 孝	広島大学・工学研究科・教授	(地盤地質工学)	土砂災害地盤調査
海堀正博	広島大学・総合科学研究科・教授	(斜面地層学)	土石流災害調査
鈴木賢士	山口大学・農学部・准教授	(大気物理学)	降雨レーダ解明
田中健路	広島工業大学・環境学部・准教授	(気象学)	バックビルディング現象の解明
三浦房紀	山口大学・理工学研究科・教授	(防災工学)	人工衛星による被災地抽出
兵動正幸	山口大学・理工学研究科・教授	(地盤工学)	地すべり調査
千木良雅弘	京都大学・防災研究所・教授	(応用地質学)	地質・土石流調査
藤田正治	京都大学・防災研究所・教授	(砂防工学)	土砂災害力学解析
後藤 聡	山梨大学・医学工学総合研究部・准教授	(地盤工学)	崩壊土砂の土石流化
風間基樹	東北大学・工学研究科・教授	(地盤工学)	崩壊土砂の物性評価
王 功輝	京都大学・防災研究所・助教	(地すべり工学)	地すべり調査
鈴木素之	山口大学・理工学研究科・准教授	(時間防災学)	災害履歴調査
山崎新太郎	北見工業大学・工学研究科・助教	(地すべり工学)	地すべり力学解析
久保田哲也	九州大学・農学研究院・教授	(砂防学)	森林崩壊・土砂流出解析
脳水健次	九州大学・農学研究院・助教	(降水気象学)	豪雨気象解析
黒木貴一	福岡教育大学・教育学部・教授	(地形学)	災害履歴調査
牛山素行	静岡大学・防災研究センター・教授	(防災情報学)	人的被害の発生と情報伝達
牧 紀男	京都大学・防災研究所・教授	(地域安全学)	土地利用規制とそれに関わる情報周知
田村圭子	新潟大学・災害・復興科学研究所・教授	(地域安全学)	危機管理と災害復興
村上ひとみ	山口大学・理工学研究科・准教授	(建築防災学)	建築物被害調査
若月 強	防災科学技術研究所・水・土砂防災研究ユニット・主任研究員	(地形学)	流形地形と土石流発生
出世ゆかり	防災科学技術研究所 水・土砂防災研究ユニット・主任研究員	(レーダ気象学)	国交省 Xバンド MP レーダを用いた降水システムの解析
(連携研究者)			
高橋和雄	長崎大学・名誉教授	(社会防災学)	警戒指定区域の対応
釜井俊孝	京都大学・防災研究所・教授	(地すべり工学)	地すべり調査
宮田雄一郎	山口大学・理工学研究科・教授	(地盤工学)	地すべり調査
朝位孝二	山口大学・理工学研究科・准教授	(水工学)	豪雨発生確率の検討
松四雄騎	京都大学・防災研究所・准教授	(水文地形学)	崩壊地の地形地質調査
楳原京子	山口大学・教育学部・講師	(地形学)	災害履歴調査